

A Happy New Year

2010. 1. 1.

皆様のご健康とご多幸を お祈りします
本年も よろしく お願いします



孫 恵奈の「トヲ」



鉄の故郷 津軽・岩木山(巖鬼山) 光ふりそそぐ森の朝



「たたら」鉄：知識から知恵へ 知恵から知識へ
環境に優しい鉄・強靱で錆びにくい鉄など その技術に
今 新しい時代を拓く科学の眼が注がれています。



本年が平和で明るい年でありますよう

■ 年のはじめに

2010年 大きく時代が変る年 激動の年 新しい一年 期待と不安が交錯する年の初め

価値観がくるくる変る激動の時代 昨年は周りを見ながら 右往左往の1年でした。

とにかく 社会の不安感を一層して落ち着いた暮らしが出来る安定へ早くなってほしいもの。

今 街で若者に「幸福ですか?」問いかけると皆 異口同音に「幸福だ」と即答するという。

本当に幸福なのだろうか・・・

考えることよりも 「ほかの人に取り残されるまい」とする建前が先に優先する答えだという。

この答えを発することで 自分を駆り立て 元気を出して 突き進んでゆくのだと言う。

現実をみることも先の展望もなく、「みんなで渡れば 怖くない」式に先へ先へと突き進む。

逆に現実を見ることの怖さに躊躇するのだとも言う。

老齢期に入って、社会の一線から離れて 若者の考え方についてゆけなくなっているのかと思っていましたが、



若者の不安感もその実大変なものらしい。

コミュニケーションの基本は 相手を分析したり、批評するのではなく 共に考える感性の言葉を伝えることだと言う。

「ほかの人を思いやる」ことから一番離れている今、

早く景気が持ち直し、時代を振り返れるようになりたいものです。

本年が平和で明るい年でありますよう 本年もよろしく申し上げます。

2010. 1. 1. Mutsu Nakanishi

アジアの西の端トルコ半島 アナトリアで鉄技術を育んだヒッタイト。 その起源はBC19世紀に遡るといわれ、紀元前12世紀頃ヒッタイトが滅ぶと各地に「鉄」が伝播し、東アジア中国には 紀元前9世紀に伝来。

中国ではその後 従来の塊錬鉄法に加え 溶融鉄鉄を造る製鉄技術を発展させ、後漢の時代(1世紀頃)に巨大炉で大量の鉄鉄を製造する技術を完成させた。そして 漢が滅亡して統制が外れる3世紀頃には朝鮮半島での製鉄が始まる。

そして 日本で製鉄が始まるのは6世紀。 それから 脈々と日本での「鉄」の歴史が今に続いている。

そんな「鉄」が今 地球温暖化に遭遇し、化石燃料(石炭・コークス)を多量に使い、炭酸ガスを大量放出する産業として苦境に立っている。

「産業の米」「鉄は国家なり」と呼ばれ、郷土を開拓して、文化を育て 人々の生活を豊かにし、その時々にあわせて 常に新しい時代を切り開いてきた「鉄」。 でも 今までに遭遇しなかった自然異変が我々の身にも直接 影響を与え始める時代に直面して 地球に生きるすべての人・動植物との共生を考えねばならぬ時代

我々ひとりひとり そして産業も 身勝手な自己流の議論・例外は許されまい。

今 待ったなしに「効率」「自己」から「環境」「共生」へと大きく舵をきらねばならない。

こんな時代に「鉄」はどんな答えを出してゆくのだろうか・・・・・・・・

そんなことに眼が行く昨今 ある仲間から発せられた素朴な質問 「たたら製鉄でつくった鉄 何で錆びにくいのか??」

「たたら製鉄」は環境に優しい「鉄」。そして、たたら製鉄はその製鉄法ばかりでなく その製品も環境に優しいのでは・・・・・・・・

『たたら技術は 「知恵から知識へ」そして「知識から知恵へ」

このたたら技術が時代の要請に答えるヒントはないのか??

そんな漠然とした たたら製鉄への思いとともに 鉄鋼産業はこの地球環境改善にどんな取組を進めているのか 一度調べてみよう。

「たたら製鉄」は製鉄原料・砂鉄を加熱・還元するガスとして木炭を使い、化石燃料(石炭・石油)を使わない自然循環型なので 単にそれを差しているのか ???と。そうだとしたら 現在の巨大製鉄産業にはとてもやないが、環境破壊なしには木炭原料を賄えない。でも これは あまりにも単純すぎる誤解でしたが、「千数百年古来の製鉄技術 たたら製鉄の技術が炭酸ガス放出を抑制する省エネ技術のルーツでは??」と調べてみて数多くの省エネ製鉄法の実用化取組が旧ピッチで進んでいることを垣間見れました。

たたら製鉄を現在の視点で「たたら製鉄」を見ると 砂鉄という表面積の大きな微粉の鉄原料を使い、強力な通風もあまり必要もなく、比較的低い温度でしかも緩やかな還元雰囲気ではほかの金属にはあまりアタックせず、主に鉄にアタックして、還元反応を上げることが出来るのがみそで、高品質な鉄が得られるのがみそ。 表面積が大きい微粉原料を穏やかに還元するため、加熱・還元に必要なエネルギーは現在の製鉄に比べて 小さく省エネでの製鉄が行える。

今 鉄鋼業では たたら製鉄に学びながら 新しい技術を取り込み、省エネルギーでの製鉄技術を確立し、大幅な化石燃料の使用低減をはかる実用研究が展開されている。

たとえば 省エネ還元反応を実現する新鉄原料粉末ペレット塊の研究と省エネ反応解析・東京工大 永田和宏教授が提唱する砂鉄・微粉鉄原料のマイクロ波加熱還元方式による高速・省エネ溶融還元製鉄法等々。

また、たたら鉄が有する高品質・高機能性に着目した新機能製品が数々の既存分野・新分野での炭酸ガス放出を低減し、供給する新機能鉄製品を通じての社会全体での省エネルギーへの貢献もトライされている。

自動車重量低減を可能にする強靱自動車構造材・錆びない鉄・高温耐熱材料などなど

このほか、廃プラスチックの利用・製鉄プラントでの高水準廃熱回収するなど
 画期的な放出炭酸ガスの固定化サイクル技術の必要性を声高に叫んでいても タイムリミットにきている地球環境の改善は
 果たせない。あまりよく知らなかった「鉄の地球環境改善への取組」。
 日本の鉄鋼産業の持つ技術が地球環境改善への積極的な展開に早く広がってゆく道がつくことを期待しています。

2010.1月の便り from Mutsu 2010.1.1.

- ★ 年のはじめに
- ★ 2009年 home page 年次Book の作製
- 「Iron Roar 和鉄の道 2009」
- 「Country Walk 風来坊 2009」
- 「From Kobe 四季折々 2009」

1. 今月の和鉄の道 製鉄遺跡探訪

1. たたらの話 あれこれ〔たたら製鉄概説〕
 風来坊 和鉄の道を訪ねて
 - Iron road たたらの源流
 - 日本独自の直接製鉄法 たたら製鉄
 - たたらの語源 & 関連の言葉や地名
 - 奥出雲・播磨 たたら「金屋子神」の伝承
 - 日本各地に残る和鉄の道 風景リスト
 - 東アジア 鉄の歴史年表 中国・朝鮮・日本

2. from Kobe 2010年1月

2010年1月 Kobe 便り 「年の初めに」

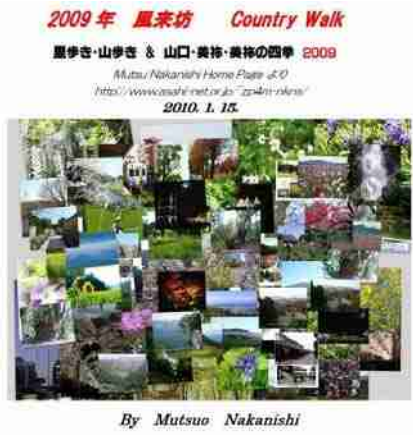


■ 2009年 home page 年次Book の作製

新しい年になって、昨年掲載した記事を年次Book 「Iron Road ・和鉄の道」2009の冊子 3冊に纏めました。
 もう 毎年の作業になりましたが、1年分の記事を読み返しながらかつて1年を振り返る。
 2000年にはじめたこの「Iron Road 和鉄の道」のhome page も10年を越え、記事もたたら遺跡探訪にとどまらず、
 随分広がって、縄文遺跡から現代の製鉄まで鉄がかかわったさまざまな風景を掲載。
 知識、知恵がつくにしたがつて、掲載内容も変化し、以前のものと整合しない部分もあるかもしれませんが、あしからず。



「Iron Roar 和鉄の道 2009」



「Country Walk 風来坊 2009」



「From Kobe 四季折々 2009」

今月の和鉄の道 製鉄遺跡探訪

■ [たたら製鉄概説] たたらの話 あれこれ - 風来坊 和鉄の道を訪ねて -



世界最古のヒットタイトの鉄 たたら製鉄のルーツ 塊錬鉄 今から4000年前の鉄
鉄の金属地が今も残っている

たたら製鉄で造って 炉だした「ケラ」
このケラの中心部に「玉鋼」周辺部は銑鉄



各地に残るたたら風景

越後弥彦山と越後開拓神伝承

仲間から「鉄は錆びるのが代名詞みたいなものなのに たたら製鉄でつくった古い鉄は何で錆びにくいのか??? 不思議やなあ……」と言われ、「あれ その話 どこかに掲載したなあ……」と思いながらも記事をしっかり見つけられず。

ちなみに 本などでは「たたら製鉄で出来た玉鋼は不純物が少ないので 錆びにくいのだ」と書かれていますが、私にはどうもしっくりこない。

「そもそも 純鉄は非常にさびにくく、玉鋼も炭素が含まれているが、ほかの成分や不純物も含めて 非常に少なく純鉄に近いので錆びにくい。現在の鉄には大量生産の製鉄の過程で 溶鉄中に添加された Si や Mn が必ず含まれるため、水があると鉄のマトリックス中で 鉄/マンガンの局部電池を造って 反応が起こってその場所に錆を発生させる。

Si や Mn を加えなければ、現在のような大量の質の良い鉄(鋼)が造れない」

と言いたいのですが、長くなって 説明になっていないかも……

考えてみれば たたらでは現代の鉄と比べても、質のいい鉄(鋼)が造られ、ほかにもまだ知られていない機能が隠れているかもしれない。

「Iron Road? 和鉄の道」の home page を作り始めて ほぼ 10 年。

初めの頃は 奥出雲・奥播磨へ良く通って たたら伝承やルーツ・語源 たたら関連地名なども良く調べていました。断片的にホームページに掲載してきましたが、バラバラ。遺跡探訪とは別に そんな記事も今一度見直し整理して 今の目でチェックしなければ……と。そんなことから 製鉄遺跡そのものとは別の「たたら」関連資料や新聞記事などを拾い出し整理しはじめました。

今回はその第一回 今までバラバラにあった資料をひとつの資料にまとめました。

- Iron road たたらの源流
- たたらの語源 & 関連の言葉や地名
- 日本各地に残る和鉄の道 風景リスト
- 日本独自の直接製鉄法 たたら製鉄
- 奥出雲・播磨 たたら「金屋子神」の伝承
- 東アジア 鉄の歴史年表 中国・朝鮮・日本



東北 一関 狛鼻溪
「砂鉄川」に堆積した砂鉄
すぐ近くは日本のルーン 萬葉(まぐさ)説話の星
がある



岩手県 一ノ関 砂鉄川・狛鼻溪

北上(日高見)の『鬼』・蝦夷の族長「アテルイ」



岩手県北上市の市民憲章には
「あの高嶺 鬼住む誇り その潮音 久遠の賛歌
この大地 燃えたついのち ここは北上」
と誇らしく歌う
この「鬼」とは古代「日高見(北上)川」沿いのこの地に
住んだ自分たちの祖先 蝦夷の族長日高見の鬼「アテルイ」
とその一族 蝦夷 を指す



岩手北上 鬼の住む山々を誇りと歌う

各地に残るたたら風景



中国漢代後半には既に溶融鉄鉄から鋼を作る間接製鉄法が実用されていた

製鉄法の2つの大きな流れ 塊錬鉄直接製鉄法と溶融鉄鉄間接製鉄法

日本独自で生まれた「たたら製鉄」は塊錬鉄直接製鉄法
中国では早くから溶融鉄鉄法に早くから移行したのに
鉄の伝来からたたら製鉄法開発まで約800年
たたら製鉄のスタート 真似るものがあったのか? なかったのか?
いまだに謎である



吉備 総社平野の北の壁に見える山並みにそびえる温羅伝説の城「鬼ノ城」と吉備津神社 2010. 1. 15.



7世紀「鬼ノ城」が唐・新羅の国内侵攻に備えた山城である説を濃厚にした城内大規模な鍛冶工房跡 2010. 1. 15.

あっという間に2月 ふきのとうが芽を出し、春の草花が咲き出しました。
いかがお過ごしでしょうか

世の中は一向に良ならず、暗いニュースが多い中、
我が家では「銭の花」が咲きました。

一般名 「花月」別名「金のなる木」・「銭の花」

花言葉 「豊かさ」

学名 *Crassula*

葉に厚みがあることから、ラテン語の「厚い」という言葉に由来しているようですが、常緑のふくよかな葉が、豊かさを感じさせるからでしょうか。小さな花がまん丸のポウルのように密集して いくつも咲いています。

花の話は ちんぷんかんぷん。

花のない冬に 我が家ではカニサボテンが 葉の先に桃色の花をつけるのを いつも喜んで 楽しんでいますが、それが終わった1月末から花が咲き始めました。この木に花を咲かすのは 難しいようで、常緑の葉を楽しむものと思っていました。何かいいことの前触れではないかと喜んでます。節分が過ぎれば立春 春が待ち遠しい。明るい話があふれる世相に早くなってほしいと願っています。



「花月」別名「金のなる木」・「銭の花」

神戸にて By Mutsu Nakasnishi



春の草花がさきはじめました 春が待ち遠しい2月です 2010.2.1.神戸

【 2010年 2月の便り 】

 From Kobe 2010年 2月

今年も節分の鬼によせて 「福は内 鬼も内」

by Mutsu Nakanishi 2010. 1. 30.

節分が近づくと毎年鬼が気になる。

毎度同じようなコメントなんですけど・・・

「鬼は外 福は内」と「福は内 鬼も内」

さあ どっちでしょうか・・・

 「鬼」が唸るのを聞いたことありますか

桃太郎伝説に彩られた吉備路を1日 Country walk してきました



吉備 総社平野の北の壁に見える山並みにそびえる温羅伝説の城 「鬼ノ城」 2010. 1. 15.

新しい年が始まり、そろそろ2月の声を聞くと、毎年気になるのが「鬼」の話。

今年は 真金吹く吉備の「鬼ノ城」の城内で大規模な「鍛冶工房遺跡」が出土したと聞いて、

寒かった1月初旬の天気回復を待ちかねて快晴の1月15日

この鍛冶工房を訪ねがてら、桃太郎伝説に彩られた吉備路を1日 Country walk。

吉備路は何度も訪れたことあるのですが、「鬼ノ城」に行くのは10年ぶり。

整備も進んでいるとききましたし、一度桃太郎伝説と重なる古代の吉備の製鉄地帯を伝説に沿って歩居てきました。

やっぱり 出かけると新しい発見ばかりで、一日楽しんで帰りました。

桃太郎に退治された鬼のモデルである「温羅」の首が埋められた吉備津神社のお釜殿。お釜の下で鬼が唸りつづけたという桃太郎伝説に由来する「お釜（鬼）」の唸りによる吉凶神事「お釜神事」が今も伝えられている。

その神事がはじまってまもなく、お釜殿の外に居る私にも聞こえる大きな唸りが蒸気を上げるお釜から発せられ、自然と止まる。話には聞いていましたが、半信半疑でしたが、本当にお釜が唸るのです。

何百年も前から続く神事。みんな びっくりしたに違いない。僕もびっくり。「鬼の唸る声 初めて聞きました」

思いもかけない体験がしばしば。たたらを訪ねての Country walk の楽しみのひとつです。

不思議でいろいろ調べて 唸る原理は判りましたので 一度実験して確かめてから お知らせします。

吉備の吉備津神社では「鬼が唸ります」

★★★ 今月の home page 更新記事 ★★★

■ 桃太郎伝説の吉備路 walk 鬼ノ城を訪ねる

2010. 1. 15.

唐の侵攻に備えた古代7世紀の朝鮮式山城

「鬼ノ城」の中に鍛冶工房があった

■ [from Kobe 2010年2月](#)

また 今年も節分の鬼によせて

—「福は内 鬼も内」—

■ [2009年 home page 年次Book](#)

「Iron Road 和鉄の道 2009」

「Country Walk 風来坊 2009」

「From Kobe 四季折々 2009」



🌈 今も先端材料 新しい鉄 NHK 「サイエンス ZERO」より

1月31日 NHK 「サイエンス ZERO」鉄の先端的研究による新物性の発見をやっていました。

「たたらを歩いている」というと「何で古い刀 そして法隆寺の釘など古い鉄はさびないの???'と聞かれることが多い。一般には「鉄はさびるもの」というのが 常識。

余談ですが、f 番組の中で 骨組みだけでなく壁も内部の家具も何もかもオール鉄の Iron House を作り、そこに住んでいる人がいる。これには脱帽 現在の鉄のモニョメントに登録せねば・・・と。すみたいとは思いませんが、あこがれます。

サイエンス ZERO で紹介された鉄の新機能性発見「高純度鉄」と「超伝導性を示す鉄」の2つ TV 画面から撮った写真を右に示します。

「本来高純度の鉄はさびないのです」といっても 中々ほんとうにされないのですが、写真のように高純度鉄はさびにくく、酸にも強い。

また、超伝導性を発しないといわれてきた「鉄」で超伝導性を発する物質が作られた。

まだ、常温超伝導までは遠いようですが、急速に超伝導を

発する温度が高温側にシフトした鉄系超伝導物質が見つかってゆくだろう・・・と。

「古くて新しい鉄」今も「鉄」は先端材料です。



【今月の home page 更新記事 概要】

今月の和鉄の道 製鉄遺跡探訪

🌈 古代の大製鉄地帯 桃太郎伝説の吉備路 walk 鬼ノ城を訪ねる 2010. 1. 15.

唐の侵攻に備えた古代7世紀の朝鮮式山城「鬼ノ城」の中に鍛冶工房



吉備 総社平野の北の壁に見える山並みにそびえる温羅伝説の城 「鬼ノ城」 2010. 1. 15.

1. 吉備の中山 walk

吉備津神社の「鳴釜神事」 本当に釜が唸るのにびっくりです・・

- 2. 足守川の土手を北へ鬼ノ城へ向かって walk
- 3. 7世紀唐の侵攻に備えた朝鮮式山城 「鬼ノ城」& 鍛冶工房跡を訪ねる
 - 3.1. 鬼ノ城西門から城壁を巡って東門へ
 - 3.2. 東門の上の尾根筋に出土した鬼ノ城鍛冶工房跡
 - 3.3. 古代日本最古の製鉄遺跡

千引カナクロ谷製鉄遺跡の位置を眺める

- 4. 古代の製鉄地帯 奥坂・阿曾に下って 血吸川に沿って足守駅へ
- 5. 桃太郎伝説の吉備路 walk 「鬼ノ城」を訪ねる総括



7世紀「鬼ノ城」が唐・新羅の国内侵攻に備えた山城である説を濃厚にした城内大規模な鍛冶工房跡 20010.1.15.

「桃太郎説話の鬼・温羅」の城との伝承があり、また、7世紀 百済救援のため、出兵した朝鮮半島白村江の戦いで敗れた大和王権が唐の日本侵攻を恐れて築いた古代の山城で、吉備 総社の街の背後にそびえる鬼城山「鬼ノ城」の山上の城内から大規模な鍛冶工房が出土したと聞いて、鬼退治をした吉備津彦を祭る吉備の中山から桃太郎伝承の痕跡が点々と残る足守川・血吸川沿いを鬼ノ城まで説話の痕跡をたどりながら、一日吉備路を歩きました。

桃太郎伝承のルーツ温羅伝承の背景には「真金吹く吉備の中山」と歌われた古代の大製鉄地帯「吉備の鉄」を巡る争いがあるとの説もあり、「鬼ノ城」の直下 東山麓の奥畑・阿曾の郷は古代 吉備の製鉄地帯の中心地。

ここには 6世紀後半 日本最古の製鉄炉が出土した千引カナクロ谷製鉄遺跡が眠っている。

以前に何度か吉備・鬼ノ城を訪れたことがあるのですが、発掘調査が進み、城内の諸施設が復元整備された鬼ノ城を見るのは初めて。また、鬼ノ城と直下にある古代の奥畑製鉄遺跡群の関係も知りたいし、奥畑・阿曾の郷にも足を踏み入れたいと。ちょっと欲張りな吉備路 walk なのですが、温羅伝承の痕跡をたどりながら、吉備津神社のある吉備の中山から足守川・血吸川沿いを鬼ノ城まで歩きました。約10年ほど前に吉備路から鬼ノ城を訪ねたことがあり、よく知っているつもりでしたが、再度歩着だすと新しい発見ばかりで 本当にびっくりでした。

興味津々で聞き入った吉備津神社「鳴釜神事」お釜（鬼）の唸り。

一度きっちり歩きたかった鬼ノ城東山麓に広がる古代吉備の製鉄地帯 奥坂・阿曾の郷。

復元整備が進んではっきりと古代の山城の姿を現した「鬼ノ城」と城内から出土した鍛冶工房

鬼ノ城の眼下に広がる古代吉備の中心地 総社平野・吉備の中山 等々

古代日本の歴史に参画した吉備の鉄の歴史を紐解く walk

吉備の大製鉄地帯を象徴する温羅伝承と鬼ノ城について の吉備路Walk を再度まとめました。



フィギアは 数十年前に買った古い神戸の港の街を歩いた船員さんたち 神戸人形ではないのですが、気に入っています



古代大和連合を支えた「阿波」とは どんな国?? 砂鉄が出土した徳島市国府 弥生の大集落「矢野遺跡」を訪ねました



阿波国の中心地 国府と弥生の大集落「矢野遺跡」

「中央構造線」を流れ下る吉野川

日本の大地溝帯「中央構造線」は有史以前からにほんの東西を結ぶスーパーハイウェイ 現代につながる和鉄の道



須磨浦山上の梅林も花をつけ始めました 須磨鉢伏山より 2010.2.22.

海苔の養殖いかだの向こうに きらきらと照り輝く春の海 穏やかな春の明石海峡

いかなご漁解禁もすぐそこ 春の到来です

3月 ぽかぽか陽気になって 梅の花も一斉に開花
 久しぶりに 須磨山上の梅林まで西須磨の山道をぶらぶら歩きました。
 海苔いかだが漂う須磨の海がキラキラ輝いて
 春 神戸の風物詩 明石海峡の「イカナゴ」漁も2月27日に解禁
 いよいよ春到来

昨年は大不漁だったいかなご漁 今年はどうなのでしょう
 神戸では これから いかなごの釘煮のにおいが漂い、
 いかなごが街角の話題の中心となるでしょう。
 相変わらずですが、待ちかねた春を届けたくて 3月のページに更新しました。
 暇な折にでもごらんください。また 各地の春の話題などもお知らせください



【 2010年 3月の便り 】

映画「インビクタス 負けざるものたち」を見る

久しぶりにスポーツ映画「インビクタス 負けざる者たち」を見ました。

1995年南アでのラグビーワールドカップに南ア大統領ネルソン・マンデラの生き方を重ねた映画です。

ネルソン・マンデラの人物像や言葉も知りたくて出かけました。

南アフリカ共和国のネルソン・マンデラ大統領と同国代表ラグビーチームの白人キャプテンがワールドカップ制覇へ向け奮闘する姿を、クリント・イーストウッド監督が描いた実話をベースにした人間ドラマ。

反アパルトヘイト運動により反逆罪として逮捕され、27年を監獄で過ごしたネルソン・マンデラは、釈放後の1994年遂に南アフリカ共和国初の黒人大統領となる。アパルトヘイトによる人種差別や経済格差をなくし、国をまとめるためには、95年に自国で開催されるラグビーワールドカップでの優勝が必要と感じ、代表チームのキャプテン、ピナールとの接触を図る……。

アメリカのスポーツ映画は好きで、毎度のエピソードをつづる華やかなアメリカのスポーツ映画かと思っていましたが、実に淡々と押さえた落ち着いた格調ある画面。

ラグビーの深い精神性とあいまって一層感動が深い。それでいてラグビーの男がぶつかり合うシーンがいくつもあって面白かったです。

「ひとつになる」ことの大きさを見据えた行動のすばらしさとそのための強い意志。前へ進むための「和解」と「赦し」それが人間の英知であると。言葉の薄っぺらさを跳ねのける強い感動でした。

映画のタイトルになっている『インビクタス』とは獄中のマンデラ氏を支えた詩のタイトルで、彼をさえたのは詩の中にある次の言葉だという。

「私が我が運命の支配者、我が魂の指揮官」

本当に その不屈の精神で推し進めた「和解」と「調和」の推進には敬意を表さずにいられない。

また、最後の場面で流れ、白人も黒人も始めてひとつになって歌う初めて聞く南アフリカの新国歌も印象的でした。讃美歌として作曲され 黒人たちで歌われてきた“神よ、アフリカに祝福を”と白人たちで歌われていた“南アフリカの叫び声”をひとつに編曲したものだそうです。

★★ 今月の home page 更新記事 概要 ★★★

■ 今月の和鉄の道 製鉄遺跡探訪

1. 「鬼の唸り・鳴釜」の再現を試しました

意外にも澄んだ響き、イメージが次々と広がってゆきます

● モデル釜「唸り」 sound

● モデル釜「唸り」の再現動画

2. 阿波 鍛冶工房から砂鉄が出土した弥生の大集落

「矢野遺跡」を訪ねる 2010. 2. 6.

弥生時代中期末 北九州と時期をほぼ同じくして
鉄器生産を始めた鍛冶工房

■ from Kobe 2010年3月

トヨタ問題で思い出した“Copy Exactly”と“Kaizen”



南アフリカ国歌の歌詞 “神よ、アフリカに祝福を” と “南アフリカの叫び声” をひとつに編曲

「南アフリカの叫び声」より

(アフリカンス語)

蒼き空の彼方から、
我らの海の深みから、
永久に変わらぬ山々から、
こだまが響き渡る。

(英語)

皆を呼ぶ叫びが響く。
やがて我らは団結して立つだろう。
自由のために共に生き努力しよう。
南アフリカ、この我らの地で。

「神よ、アフリカに祝福を」より

(コサ語とズールー語)

神よ、アフリカに祝福を。
汝の栄光を高く掲げたまえ。
我らの願いをかなえたまえ。
主の息子達である、我らを祝福したまえ。

(ソト語)

神よ、我らのもとに介在し、
全ての争いを終わらせたまえ。
そして我らと国を守りたまえ。
南アフリカを守りたまえ。

機会があれば是非どうぞ 映画館で。 また、ラグビーのすばらしさも
日本でのラグビー ワールドカップは2019年



From Kobe 2010年 3月

トヨタ問題で思い出した “Copy Exactly” と “Kaizen”

by Mutsu Nakanishi 2010.3.1.

トヨタがリコール問題でアメリカでたたかれている。
日本では 当初 トヨタがアメリカの日本いじめにあっているとの論調
がほとんど。果たして本当だろうか・・・
日本企業が世界のグローバル企業であるため 日本流を排さねばならぬ
ことに気付かねば・・・
そこに トヨタのおごりが見えるのでは・・・



びっくりするほどいろんなことが入っていたパソコンの中身

パソコンで便利になったのが電子申告が進む確定申告。
確定申告の時期が近づくと申告にひつようなもの 必要でないもの郵便で送られてくる書類の数々。
パソコンで一度やるとその年のデータがすべて残っていると自分の必要添付書類名が具体的に照合できるので、抜けなく
必要書類が確認できる。後は今年の変更点の書類を加えればよい。昨年の書類を見ながらのPC作業で添付データを打ち込む
だけで、計算もしてくれ、書類を仕上げてくれる。年間生活者にとっては還付申告で簡単なのも事実ですが、すごくスムー
スな作業になる。これを自分で書類に書き込んで 計算するとなると頭を抱えてしまうだろうと思う。
還付申告にはパソコンが便利で間違いがない。

パソコンをはじめ、電子機器が身の回りにあふれる次代になってきた。
パソコンの調子が悪いのが続いて、思い切って入っていたソフトをすべて抜いて、クリヤーにして 再度インストールをしな
おした。あらかじめ 準備して メールアドレスやら作成したDataなどを別に疎開させて カバーしたつもりでした。
ところが 再インストールを始めると Upgradeしたソフトは 元のオリジナルのソフトがいる。
インターネットで買ったソフトは ID・パスワードがある。本の注文していたサイトの ID・パスワード google Earth の ID
も。また、インターネットからダウンロードした便利なフリーソフトがどこか判らぬ。等々

パソコンには おもいもかけず、自分流のパソコンになっていて、クレーンにして再インストールするとそれが再現できない。自分では準備したつもりでも、実際には使うまで気付かぬことのなんと多いことか・・・
 ほかの人のパソコンを使わせてもらった時の使いにくさの原因がここにある。
 携帯電話にファックスにそれから カードも多いし・・・何やかや。
 さらにいろいろな機器が益々便利な電子機器化してしまうのですが、人間は忘れる動物。
 一年もたてば、完全に忘れてしまう。マニュアル探すのに一苦労。マニュアルなしでは手出しができない。電子機器化の盲点のように思える。 我が家の危機管理のひとつと気付いた次第。

また、使いやすいように・パソコンの速度を速めるためにと思っやりましたが、かえって普通に使いこなせるまで随分かかりました。もう パソコンのソフトをすべて抜いて クリーンにして再インストールはこりごりです。
 また、メールアドレスが昨年11月分まで、戻って苦労しています。また、一度 メールいただければ、ありがたいです。

 「鳴釜・鬼の唸り」の再現実験を試みました

前月 「鬼」が唸るのを聞いたことありますか・・・と吉備・吉備津神社の「鳴釜」を紹介させていただきましたが、インターネットを調べて、この「鳴釜」を簡単な道具実験で再現できることを見つけ、台所に行って、お米を少々出して 再現テストをやりました。家族に「ほんま ようやるわ」とあきれられながら。
 でも 澄んだ音色のすばらしい響きでした。 今月のホームページに掲載しましたので どうぞ。

また、この「吉備の鬼」について 多くの人からメールいただき、
 節分の鬼について 「奈良」でも「京都」「山形」・・・いろんなところで「鬼は外」といわないところが多いと教えていただきました。
 また、「鬼ノ城」についても。



一番びっくりしたのは 高校時代の仲間から「すっかり 忘れていたが、昔、小さい頃 家のお祭りに祭司をお呼びして「鳴釜神事」とそっくりのお祭りをしていた記憶がある」と。やっぱり 鬼は今も人の心にひびくものがあるとつくづく感じています。 澄んだ音色のすばらしい響きでした



神戸の春到来
 街角ではいかなごの情報が一番の話題に
 早速 家内も張りきって釘煮作りをはじめました
 今夜は「新子」と「釘煮」で 春を飲む



明石海峡 いかなごの初漁 2010. 2. 27.
 いかなごの釘煮に 釜揚げの新子 今日酒の肴です
 いかなごの釘煮のおいが漂う神戸の春

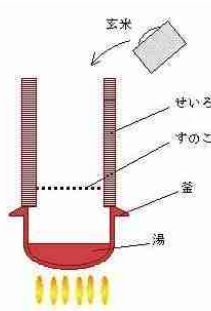
【今月の home page 更新記事 概要】

***** 今月の和鉄の道 製鉄遺跡探訪 *****



1. 「鬼の唸り・鳴釜」の再現を試しました 意外にも澄んだ響き、イメージが次々と広がってゆきす

- モデル釜「唸り」sound [6.8MB WAV file]
- モデル釜「唸り」の再現動画 [4.0MB WMV file]



「鬼の唸り 鳴釜」の再現をやってみました 本当に大きな唸り声が・・・

吉備 吉備津神社で聞いた「鬼の唸り・鳴釜」

突然 唸りだした鳴る釜の不思議とその澄んだ音色に引かれ、調べてみると身の回りの物でモデル釜ができると解って、どんな音が出るのか トライしました。

缶ビール（我が家は第三のビール）の缶3つを三段に積んで一段と2段の間に金網をセットするだけの簡単構造。

吉備で聞いたのと同じ 不思議な音色 鬼の唸りが聞こえてきました。

また、そのメカニズム 不思議な音色に 小学生から大学生そして 大学の先生方まで取り組んでおられること知りました。こんな簡単な構造で 本当に大きな音が出る 昔の人は本当に驚いたことでしょう



2. 阿波鍛冶工房から砂鉄が出土した弥生の大集落 徳島市国府町矢野「矢野遺跡」を訪ねる 弥生時代中期末から北九州と時期をほぼ同じくして鉄器生産を始めた鍛冶工房 2010.2.6.

1. 板野古墳群の山麓にある徳島県埋蔵文化財センターへ
徳島県埋文センター・西山谷2号墓
2. 弥生の大集落矢野遺跡のある国府地区へ
鮎食川の扇状地に開けた阿波王城の地 国府・徳島考古資料館
3. 「村から国へ」国府地区 walk
砂鉄が出土した矢野遺跡 鍛冶工房跡を探す
 1. 矢野古墳
 2. 阿波史跡公園 宮谷古墳
 3. 阿波 国分寺跡
 4. 矢野遺跡が眠る矢野の国道192号線地下
砂鉄を出土した矢野遺跡 鍛冶工房跡
4. 阿波 矢野遺跡 walk のまとめ
矢野遺跡 鍛冶工房から出土した砂鉄の使い道???



【概説】

1. 「阿波の国」概説 阿波と初期大和王権のかかわり
2. 「矢野遺跡」概説 村から国へ 鉄器加工を始めた弥生の大集落

古代大和の連合国のひとつとして 大和王権を支えた「阿波」。

吉野川河口にあって、東瀬戸内 大和の玄関口の地の利が連合国にした程度に思っていました、阿波は縄文から続く先進地 弥生時代中期以降 鉄の工房が意外と多いなあ 砂鉄を出土した鍛冶工房がなぜ阿波に・・・・・・とあって 出かけました。

でも 行ってみないと解らない。

知らなかった阿波の国。大和の国づくりのベースにある「阿波の青石」・「朱」・「蛇紋岩の勾玉」そして阿波独自の土器に刻まれた弧帯文等々存在感のある阿波の国力にびっくり。

その根元に早くから北部九州から供給された鉄素材を元に作る武器・工具などの鉄器製作があったことを知りました。中央構造線ならびにそこを流れ下る吉野川がもたらした賜物と映りました。



一番の興味は弥生の大集落矢野遺跡にある鍛冶工房から出土した「砂鉄」

まだ、日本で製鉄が始まるのははるか後年。なぜこの時代に製鉄関連地の墓や竪穴住居で出土するのか「砂鉄の謎」

今回も謎は解けませんでした、色々な考え方も教えてもらって満足。一日 阿波の歴史を訪ねる阿波国府 walk でした。

京阪神からは休日 1000 円の高速道路を使えば 1 時間から 2 時間以内。

ゆったりとした時間が流れる歴史散歩がたのしめる阿波 お勧めです。

◆ from Kobe 2010年3月



トヨタ問題で思い出した「Copy Exactly」と「Kaizen」

トヨタがリコール問題でアメリカでたたかれている。日本企業が世界のグローバル企業であるため 日本流を排さねばならぬことに気付かねば・・・・そこにトヨタのおごりが見えるのでは・・・・

「copy exactly」と「Kaizen」

日本では 評判の悪かった「copy Exactly」の中身を理解しない限り、日本の企業は世界企業になれないと思っています。

また、そのことを指摘する人がほとんどいないのに びっくりしています。 理念 考え方の大切さが今回も出ています。

Copy exactly もう10数年前 電子部品の国際ビジネスの仕事の中で 徹底的に叩き込まれた**生産現場の安定品質とクレーム対処**についての言葉である。品質を均質安定にするには 一切異質を認めぬ「Copy exactly」。

工場・ラインが異なっても、すべての機械・製造ラインの質を同じくして 同じ操業管理をすることを求め、それを標準化して管理し、標準から外れた異質・異常を見出す。同一マニュアル・同一設備・同一運用。科学的な管理 Data を取り、常に品質を確保する。

この方法で異なる場所・ラインでも常に同じベースで品質を見る。決して 抜きん出ることを目指さず、冒険は犯さない。

トップを目指すときは 全ライン 同一品質を目指す。これでないグローバルな品質は守れないと。

日本では 常に日々の改善向上が全体品質を引き上げてゆくとのお思いがあり、常に自分たちがトップを狙う。

一方、Copy Exactly の工場では ラインは変化させないのが基本。その上で 変化をチェック管理し、歩留・品質のばらつき・サイクルタイムの安定向上を競う。ここから自然と異常・異質が見えてくる。部品発注先にも徹底して要求管理した。

この copy exactly のライン操業を自社ラインばかりでなく、「これが世界企業の方式か・・・・」と四苦八苦しながらついて行った厳しさが今も頭に残っているのですが、同時に感じた世界標準。この方式が やっぱり世界基準の考え方と今も信じています。

今回の問題が起こって直に この「Copy exactly」「Quick Response」の言葉が昨日のよう。



4月になって 一気に満開になりました 京都御所 & 京都植物園で 2010.4.1.

春とはいえ 冷たい風が吹き、桜の開花も足踏みしていましたが、

4月になって、一気に満開に。素晴らしい花の季節の到来です。

やっぱり 最近 気の重い日々の中 桜の花が咲くと華やいだ気持ちになります。

「4月 変革の希望に満ちた新しい年度の始まり」というのも ちょっと色あせて、

「そろそろ 具体的な果実なしには 期待も夢もしぼんでしまうぞ!!」と叫びたいこの頃です。



西播磨の春 沖に家島群島が浮かぶ 竜野市御津 梅の花・菜の花が満開の綾部山 2010.3.14.



我が家の春の庭にことし初めて アーモンドの花が数輪花をつけました。

もう 随分前に家内が貰ってきた種から育ててきたのですが、

毎年「アーモンドの花が咲いた」と聞く春

我が家では 花をつけたことのない木が数輪ですが、花をつけました。

花言葉は「希望」「希望」「真心の愛」「永久の優しさ」

今年こそ みなりが分かち合える 明るい平和な年 になってほしいものです。

アーモンドの花

4月4日は「復活日・イースター」思いは同じ。は

かり知れない神の愛 共に生かされている私たち

自らをふりかえり、家族・周りの人たち・地球の人たちに思いを・・・

2010.4.4. by Mutsu Nakanishi



Happy
Easter



梅の花から菜の花 そして 満開の花をつける桜へと。これを見ないと春にならず。

また、寒風に身をくゆらすカタクリの花も 私の一番好きな春の花

今年も春の香りを求めてのCountry walk

西播磨 たつの市御津町綾部山の梅・菜の花 そして 赤穂市坂越の「生牡蠣」を訪ね、京都の知人からの「今 御所や植物園の桜が満開になりつつある」の報に京都へ。素晴らしい春いっぱいの花に満足。

ただ、まだ 一番好きなカタクリの花に出会えず。

昨年 夏の集中豪雨で大きな災害を出した佐用町の佐用川沿いにこのカタクリの群生地がある。

まだ その情報が聞けず、被災した人たちの一日も早い復興を願いつつ、今年はどうだろうか・・・と案じています。

神戸の街も休みにになった若い人たちににぎわって、こちらも 何とはなしに ぶらぶら街に出て、春を楽しんでいます。

また、いつもの「鉄」の話。

友人から岩波の科学ライブラリー「鉄学 137 億年の宇宙誌」が おもしろいを教えてもらって早速買い求めました。

「地球に鉄がなかったら 現在の地球環境も 人間を含めた生命体も存在しえず人の歴史も生まれなかった」と。

地球の生命体と鉄の話 知らぬこと多く本当に面白かったです。

4月のページ。

相変わらずですが、そんな 花の便りや「鉄学 137 億年の宇宙誌」の本の紹介などで、作りました。

暇な折にでもごらんください。

また 各地の話題などもお知らせください

茨城の義姉より「努力目標にして健康で日々を有意義に過ごせ」と
次のメール

「一、十、百、千、万」健康法；茨城朝日掲載のコラムより

一は 1日一回 じっくり考える、
十は 1日十回 腹から笑う、
百は 1日百回 深呼吸、
千は 1日千字 書く、
万は 1日万歩 歩く

実行はおぼつかないまでも 頭にしっかり入れて・・・と。
皆様も健康にご留意されますよう。

2010.4.5. 神戸にて By Mutsu Nakasniishi



自宅のサンルームから漏れくる春の陽
雨漏りして物置になっていたサンルームを改造
気持ちのいい空間になりました



桜満開の京都賀茂川 2010.4.1.



京都御所の糸桜 2010.4.1.



4月 新年度・新学期

希望に満ちたスタートへ

4月 新年度・新学期 希望に満ちたスタートが始まる。私たちオールドの年代には 平凡な日々の中に 忘れかけていたかつての時代を思い出し、新しいエネルギーを注ぎこむ時であり、また、 第二の人生のスタートを切る人たちも多い。

それにしても 誰もが 疎外感・不安感にさいなまれているような時代 早くこの焦燥感から早く脱したいものです。

先日 NHK の朝のラジオで

内橋克人氏が「世代間が同じ価値観を共有しないと経済が繁栄しても 社会は崩壊する」と NHK ラジオ第一放送「ビジネス展望」で放送しているのを聞いた。 鋭い指摘である。

★★ 今月の home page 更新記事 概要 ★★

■ 今月の和鉄の道 製鉄遺跡探訪

1. 地球誕生から約 46 億年 鉄の歴史と役割にびっくり

「岩波の科学ライブラリー「鉄学 137 億年の宇宙誌」を読んで

■ 今月の風来坊 Country Walk

1. 西播磨 歴史の町に春を訪ねる

西播磨綾部山梅林と江戸の町並みが残る坂越港

● 菜の花と梅満開の綾部山観梅 walk

● 綾部山 39 号墳を訪ねる

「大和・阿波・讃岐・播磨」の連合を示す播磨の重要な古墳

● 古代秦氏の播磨進出地 港町「坂越」walk

● 西播磨 歴史の町に春を訪ねる まとめ

2. 写真アルバム 京都御所と植物園に満開の桜を訪ねる

● 京都御所の桜 ● 植物園の桜

● 重文近代建築 京都府庁&レンガのアグネス教会

■ from Kobe 2010年4月

1. 地球誕生から約 46 億年 鉄の歴史と役割にびっくり

「岩波の科学ライブラリー「鉄学 137 億年の宇宙誌」を読んで

2. 写真アルバム 大阪中ノ島がきれいなウォータフロントに

再び就職氷河期が到来。卒業した翌日が失業初日。経済団体も労働組合も失業は個人の問題と片付けている。

「若い世代とそれ以外の世代の連帯意識」・「雇用分断によって生まれた正規雇用と非正規雇用労働者」・「高齢者と若者」

「社会を構成している各階層が互いに分断され、まるで互いに利害関係にあるような意識の刷り込み」が 小泉改革以来進められた。社会連帯の意識が希薄になり、同じ社会を生きているという価値観を共有できなくなってきている。

各世代間が同じ価値観を共有しないと「経済が繁栄して、社会は崩壊」の危機が迫っている。

2006年にフランスで歴史的な事例があった。政府が導入したCPE・初期雇用契約を撤廃させた。

この制度は若者を雇用してから2年間は理由を一切説明せずに解雇できるというもの。当時のフランス政府はこれにより「解雇を容易にすれば雇用が増える」と新自由主義に基づいた考え をしていた。

これに対し学生だけでなく、教員・労働者もともにデモやストライキを行ってCPEを撤廃させた。

しかし、日本では政治家・マスコミは世代間対立を煽るような論調が続いている。このままでは私達の社会から社会的連帯意識が希薄になり、社会的統合の崩壊が起こるのではないかと思う。いかにしてその崩壊を止め、連帯意識を取り戻すべき時期に来ている。

NHK ラジオ第一放送「ビジネス展望」

内橋克人：失われる社会的連帯意識 2010/3/30 火曜日より

「ソヤ ソヤ」と思うのですが、同窓会世代の我々には 持って行き場なし。

また、最近 知らせるすべもなく仲間の訃報に接することが続いて 本当にさびしくなる。

「同窓会とは ふるさとを訪ねるのと同じ 自分探しの旅だ」といった人がいますが、

新しい仲間との出会い 思いがけない昔の仲間に出会い 昔を語るのは楽しいもの。

行動半径がどんどん縮まり、生産的ではないなあ・・・と思いつつも

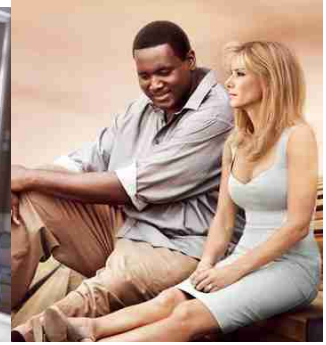
声がかかると ついつい居心地のよい仲間の会に出かけることが多いこの頃。

やっぱり 気楽に話せる仲間が頼り。

「同窓会とは ふるさとを訪ねるのと同じ 自分探しの旅」に共感。



映画「幸せの隠れ場所」で見た素晴らしい笑顔



3月は アカデミー賞の発表があるので ノミネートされた作品など話題作が数多く 栄華を見る機会が多い。そんな中で 前月紹介した「インビクタス 負けざるものたち」にも感激しましたが「幸せの隠れ場所」もお勧め。

「幸せの隠れ場所」作品情報より

ホームレス同然の生活からアメリカン・フットボールのプロ選手になった少年の実話を映画化した感動的な人間ドラマ。裕福な家族と黒人少年との、偶然の出会いと深いきずなを丁寧につづる。

魅力ある母親を好演したサンドラ・ブロックが、2009年の数々の映画賞を受賞。

本作の少年役で本格的にデビューするクイントン・アーロンらが共演。

良心がもたらすアメリカン・ドリームに、ラストはさわやかな感動で包まれる。

魅力ある母親を好演したサンドラ・ブロックがアカデミー主演女優賞を得た作品ですが、

アメリカンフットボール選手を演じる黒人主人公の素直な笑顔

黒人の大人があんな素直な笑顔で見られるのは初めてでした。

悪人が一人も出てこないのもいいです。お勧めです。



エプリルフールの4月1日

京都で見つけた 金色の鳥居 御金(みかね)神社 ご存知でしょうか・・・



京都で見つけた金色に輝く鳥居の 御金(みかね)神社 京都市西洞院御池上る 2010.4.1.

不景気の厳しい世相 ちょっと用があって出かけた京都で 金の鳥居が輝く「御金神社」 珍しい名前の神社を見つけました。場所は西洞院御池上ル 室町に近く反物などを染める職人が多く住む通りである西洞院通の町屋やビルに取り囲まれて建っている。御池通りから西洞院通に入っすぐ「御金」の珍しい旗が何本も立ち、鳥居は金色に輝く。

こんな神社もあるのだと。

創建時期は不明であるが、祭神は祭神は金山毘古命。鋳物の神で金属類を護るといわれ、金属、鏡や刀剣、鍬等の神様として地元の人たちの信仰を集めてきたが、金属は通貨に用いられることから、近年はお金の神様として広く解釈される一方、

不動産、方位、厄除け、旅行中の安全をも護るとされ、証券・投資関係の人のお参りや競馬・宝くじなどギャンブラーのお参りも多いという。金色の鳥居は近年、木製の鳥居を金色に塗ったもので、金色の鳥居になって この御金神社がブームになったと地元の人に聞きました。

神社の境内にかけられた絵馬には 祭神 金属の神様 金山毘古命もびっくりのストレートな願い。

「手持ちの株〇〇〇円で売り抜けますように」「万馬券を頂きます」「借金早く返せますように」「ナンバーズ当選ありがとう。次は年末ジャンボを」などなどの願いが踊っている。

金属の神 金山毘古命を祭神とする神社は和鉄の道でずいぶん訪ねたことがあります、本当にいずれも地味な存在。

ストレートに金運を願う人たちの信奉する金山毘古命そして「御金」神社の存在はまったく知りませんでした。

「金運を願う」神として 地味な金属の神が信仰されているのにびっくりで・・・・・・。

金属の神にもこんな陽気な一面もあるのです。金運アップを願う方はぜひお参りを。

なお、老婆心ながら 東洞院通は現在 南行の一方通行で御池通りからは入れず、一筋違えた通りから北へ入って回り込まねば行けません。



大阪中之島がきれいな water front に 近代建築の重要文化財 中央公会堂と中之島図書館



中之島公園から西の淀屋橋



大阪の中心地 中之島公園東部 中央公会堂境界 2010.3.2.

大阪に久しぶりに出て、ちょっと時間がありましたので、京阪電車が開通して大きく変化したと聞く中之島を歩きました。

かつて 昼休みに川沿いのビルから運動をかねて歩いた頃とは様変わり、本当にきれいなウォーターフロントに。また、中ノ島の中央 大阪市役所の東側に並んで建つ近代建築の重要文化財 中央公会堂と図書館。きれいに整備されて現役なのがうれしい。天神祭りだけが 中ノ島ではない。林立するビルと車騒音になんとなくせかせかと歩く大阪の市街地ですが、ここは空が見渡たせ、中央公会堂の食堂に入るのもよし。土佐堀川を行く引き舟や水上バスを眺めるのもよし。ゆったりとした気分になる散歩道です。



土佐堀川に面して建つ 中央公会堂



中之島図書館



山口の萩焼 焼陶芸家 田中講平さん 手作り登り窯の築造中

山口吉敷の陶房に自作・手作りの登窯を築造中の田中さんから

「煉瓦積みも順調に進んで、目途がついてきた。夏には窯焚きが出来そう」とのメールあり。

「長い炎が作品をなめつくして舞う数々の「窯変の技」に磨きをかけたい
萩焼の肌にはほのかに色づく紅のグラティエーション
そして 白萩にも 自分の技を吹き込んで
また、目を輝かしている陶芸教室の生徒さんの作品も焼ける
楽しい窯にしよう!!」

と「萩」にいつも新しいエネルギーを吹き込んできた田中さん。
そのパワーにはいつも敬服。

「そのうち ちょっとでも 煉瓦積み手伝う」と言いながら
まだ 山口に出かけられないでいるが着々と進行中。
うれしい限りである。

この夏には どんな萩の作品群が生まれてくるのか 楽しみ。



窯の煉瓦積みが進行中
登り窯の一番下 大口・一の間の煉瓦積み
の真っ最中（田中講平さんより）



From Kobe 2010年 4月

1. 誕生から約46億年 鉄の歴史と役割にびっくり
「岩波の科学ライブラリー「鉄学 137億年の宇宙誌」を読んで
2. 写真アルバム 大阪中ノ島がきれいなウォータフロントに

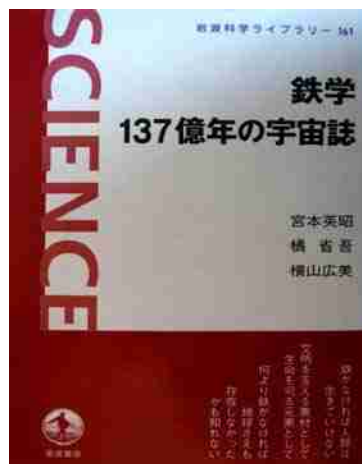
【今月の home page 更新記事 概要】

今月の和鉄の道 製鉄遺跡探訪



1. 地球誕生から約46億年 鉄の歴史と役割にびっくり

岩波の科学ライブラリー「鉄学 137億年の宇宙誌」を読んで



「地球に鉄がなかったら

現在の地球環境も人間を含めた生命体も存在しえず 人の史も生まれなかった」

友人から教えてもらって読んだ本「鉄学 137億年の宇宙誌」の紹介です。

「なんでも 鉄にむすびつけるなあ・・・」とよく言われてきたのですが、この本を読むとまさにそうかも・・・。

「地球に鉄がなかったら 現在の地球環境も 人間を含めた生命体も存在しえず人の歴史も生まれなかった」と

難しい宇宙・地球の成り立ちほか宇宙物理・地球物理の世界を解かりやすく説明する。

「鉄」が「物づくり」を通じて 社会・産業に大きな役割を果たしてきたことは知っていましたが、地球上の生命にも大きな役割を演じ、
今緊急の問題 地球温暖化対策にも新しい視点をあたえるも・・・

はっと気付かしてくれる小冊子です。

 西播磨 歴史の町に春を訪ねる 綾部山梅林と江戸の町並みが残る坂越港 2010.3.14.



菜の花と梅満開の綾部山と綾部山から見る播磨灘 家島群島 2010.3.14.

前々から気になっていた西播磨 「なぜ 西播磨が大和王権を支える重要な連合国になったのか……」

しかも その初期には隣の吉備よりも 瀬戸内海をはさんで向かい側四国の阿波・讃岐との 結びつきが強いと聞く。西播磨の海岸沿い 神戸から車で加古川パイパスを抜けてゆけば、1時間ちょっとのところに ある。

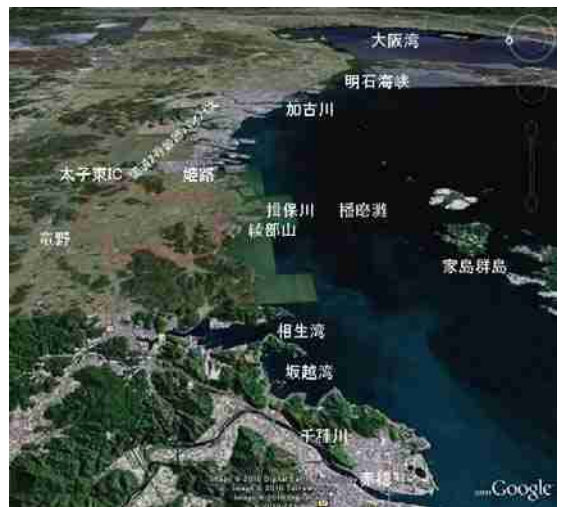
「西播磨の海岸沿い大和・四国との結びつきを示す古墳がある綾部山の梅林の梅が満開」と新聞が伝えている。

また、つい先日 おいしく食べた西播磨名産「坂越の殻つきの生牡蠣」が古代の渡来氏族氏の播磨の進出地と教えてもらった。

西播磨が一番輝いた時代 どんなところだったのかを考えてみたくて

「綾部山の満開の梅を見て、坂越の港での焼き牡蠣食べに行こう」と

家内の車をあてにして 3月14日（日）朝家を出て西播磨へでかけました。



眼前に家島群島 小豆島がゆったりと浮かぶ播磨灘 綾部山は梅と菜の花畑が満開 時間が止まったような静かな坂越では 沖の養殖筏からひっきりなしに牡蠣が水揚げされる処理場 そこだけが忙しそう。西播磨の春の香りを胸いっぱい吸って帰ってきました。



江戸時代赤穂藩として栄えた港町の家並みと坂越漁港から見る播磨灘 2010.3.14.



2. 写真アルバム 京都御所と植物園に満開の桜を訪ねる 2010.4.1.



桜満開の京都 今年は京都の桜を満喫できました 2010.4.1.

- 京都御所の桜
- 植物園の桜
- 重文近代建築

京都府庁&レンガのアグネス教会京都



京都の知人から「今 御所や植物園の桜が満開」との桜情報を聞いて、
 4月1日 曇り空に霧雨がぱらつく木曜日 家内と二人で京都に出かけました。
 曇り空に時折 雨がちらつく曇天でしたが、知人の情報どおり 満開の桜。人出も少なくゆっくりと満開の桜を楽しみました。
 その京都の桜を写真アルバムにしました。

from Kobe 2010年4月



from Kobe 1 誕生から約46億年 鉄の歴史と役割にびっくり

岩波の科学ライブラリー「鉄学 137億年の宇宙誌」を読んで



from Kobe 2 写真アルバム 大阪中ノ島がきれいなウォーターフロントに



水星, 金星, 地球, 火星



神戸六甲の裏側 丹生山系を山越えて 箕谷から淡河を結ぶ国道428号線で 2010.4.19.

草木萌える5月 素晴らしい季節になりました

草木萌ゆる5月

自宅の庭では林檎の花「桃色がかった白い花」がほのかな香りを漂わせています。
 周りの里山では、目覚めた樹木の青葉・若葉が目にしみ、
 頬に感じるそよ風が心地よい。
 天候不順な今年の春ですが
 Country Walkに また、街歩きが一番楽しい季節。
 「風薫る」すがすがしい空気を胸一杯吸い込んで、頑張らねば……と。



自宅の庭先で 2010.4.18.

やっと季節はずれの寒さも一段落 すがすがしい5月の到来。
 毎日がサンデーのロートルにとっては ゴールデンウイークのありがたみもあんまりありませんが
 野に山に風来坊にとっては 楽しい季節。是非 お近くの野山へお出かけください
 ホームページの更新ページを作っている間にも カタクリから桜 そしてツツジ・石楠花と 春の花が移って行きました。
 毎度 相変わらずですが、神戸 里山の春の写真ほかをお届けしたくて、ホームページを更新しました。
 暇な時にでもご覧下さい。

2010.5.5. 神戸にて By Mutsu Nakasishi





桃色がかった白い花「林檎の花」

ほのかな香りが庭に漂っています 2010.4.15.



庭先には春の草花が一杯

ツタンカーメンの豆も実をつけました 2001.4.30.



播磨佐用町のカタクリの花に出会えました

昨夏の集中豪雨で大きな被害があった兵庫県播磨 佐用町。毎年訪ねるカタクリの群生地の被害も心配していましたが、「可憐な花を咲かしている」と教えてもらって行ってきました。

4月8日 もう盛りの時節は過ぎていましたが、山の斜面で風に身を震わせる愛らしいカタクリの花に出会えました。

可憐な姿に地元の人たちも元気付けられたに違いない。本当に 無事でよかった。

地元の人達から、「まだ、被災者が多く残り、今年は観光 PR を自粛した」と聞きましたが、四季折々の花が咲く日本の原風景のような町並みと共に、一日も早く佐用町全体が元気をとり戻されることを願っています。

2010.4.8. by Mutsu Nakanishi

★★ 今月の home page 更新記事 概要 ★★

■ 今月の和鉄の道 製鉄遺跡探訪

1. 日本美術刀剣保存協会「日刀保たたら」の操業
鉄鋼新聞 2005. 2. 7. 記事より

■ 今月の風来坊 Country Walk

1. 【写真アルバム】

春の妖精 カタクリの花

兵庫県播磨 佐用町 2010. 4. 8.

2. 【写真 file】 草木萌ゆ 春の里山風景
神戸北 丹生山系を越える国道428号

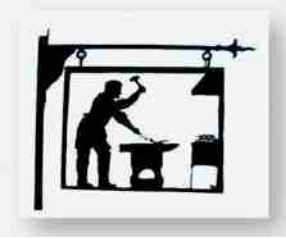
■ from Kobe 2010年5月

1. 「重複は無駄なのか? それとも無駄ならずか?」
なにか おかしい民主党の事業仕分け
2. 草木萌える5月 神戸で
庭で咲く春の花 & 六甲高山植物園の石楠花



西播磨 佐用町 千種川 弦谷・東徳久殿崎 カタクリの群生地で 2010.4.8.

イギリス コッツウォールの鍛冶屋の看板



ドイツ ローテンブルクの鍛冶屋敷にかかっている看板など古いヨーロッパの街には鍛冶職人が製作した店の職種を表す美しい看板がかかっているのを知ってから、「街歩き」の番組を見ると店の看板が気になります。特に鍛冶屋には興味津々。先日も「街歩き」の番組をみていたら イギリス コッツウォール の街の鍛冶屋が写って、その看板がきれいだったので 写真を撮りました。



イギリス コッツウォールの鍛冶屋の看板



ローテンブルクの看板と 鍛冶屋

ローテンブルクの中世の街並みを一層引き立てているのが、店の軒先に掲げられた鉄看板。形はさまざまですが、透かし彫りで統一されている。昔、文字の読めない人でも何の店か一目でわかる看板を作ったのが始まりだそうで、今でも看板の伝統を守っています。ローテンブルクでは、レーダー門近くにある古い鍛冶屋の製造で看板作りが行われたために歴史的に統一したイメージになったという。



お店の看板が美しい鍛冶屋通周辺 2007.12.7.



ドイツの古都ローテンブルクの旧鍛冶屋とその看板



六甲森林植物園に天然記念物の日本カモシカがいる 知りませんでした



私だけが知らなかったのかも知れませんが、六甲森林植物園に日本カモシカが飼育されている。

動物園の檻とはちがって、山の斜面を区切って雄と雌の2頭が飼育され、斜面をひよいひよいと歩く姿が見られました。

一度 京都北山で昔々 見たことがあるのですが、

飼育されているとはいえ、山中で見るのはそのとき以来です。

私だけが知らなかったのかもしれませんが・・・びっくりで、

谷の反対側から斜面を歩く姿をしばらく眼を凝らして見ていました。



六甲森林植物園 カモシカ園で飼育されている雄・雌2頭の日本カモシカ 2010.4.30.

絶滅が危惧される日本カモシカ 繁殖のため 特別の許可を得て 神戸王子動物園と共同で飼育

【今月の home page 更新記事 概要】

from Kobe 2010年5月

From Kobe 2010年 5月

1. 「重複は無駄なのか? それとも無駄は無駄ならずなのか?」 なにかおかしい民主党の事業仕分け
2. 草木萌える5月 神戸で 庭で咲く春の花 & 六甲高山植物園の石楠花

今月の和鉄の道 製鉄遺跡探訪



1. 日本美術刀剣保存協会たたら「日刀保たたら」の操業 2005.2.7. 鉄鋼新聞 掲載記事より

古い鉄鋼新聞の記事ですが、2005年2月「日刀保たたら」の操業を伝える新聞記事ができました。「たたら製鉄」の操業の実際をわかりやすく伝えていて 参考になると思い掲載しました。

「たたら製鉄の操業は『秘技』とよくいわれるのですが、実際の操業を見られる機会がほとんどなし。最近も友人から たたらの実際の操業が知りたいといわれ、この記事を参考に送りました。



たたら炉操業 砂鉄を入れる



炉壁を壊して「ケラ」出し



1. 春の妖精 カタクリの花 兵庫県播磨佐用町 2010.4.8.



千種川が流れ下る佐用町旧南光町地区下野・徳久



佐用町東徳久 殿居 カタクリの里で

昨夏の集中豪雨で大きな被害があった兵庫県播磨佐用町
毎年訪ねるカタクリの群生地の被害も心配していましたが、
「可憐な花を咲かしている」と教えてもらって、行ってきました。

4月8日もう盛りの時節は過ぎていましたが、山の斜面で風に身を震
わせる愛らしいカタクリの花に出会えました。本当に 無事によかつ
た。

春到来を告げるこの可憐な姿に いつも勇気づけられたカタクリの花
まだ、「まだ、被災者が多く残り、今年は観光PRを自粛した」と聞かま
したが、一日も早く、四季折々の花が咲く日本の原風景のような町並
みと共に、佐用町全体が元気を取り戻すことを願っています。



2. 【写真 file】 草木萌ゆ 春の里山風景

神戸北丹生山系を越える国道428号線号 2010.4.19.



神戸北 丹生山系を越える国道428号 2010.4.19.

我が家からは50ccのバイクで約20分ほど 箕谷から北へドライブウエーを少し登りもトンネルを抜けたところで、切り立
った谷にかかる橋から眺める四季折々の景色は風景画の画面を切り取ったよう。

桜が散り始めると里山は芽吹きした草木のが若葉が一斉に萌え、一番生命力を感じる季節。

そんな淡い若葉に包まれて ピンクのミツバツツジが満開です。

ツツジと草木萌える里山の写真を撮りに行こうと4月19日の午後 バイクを走らせました。

自由にバイクを止めて 山や田園・集落をのんびりと 今年も 胸一杯に春の空気を吸い込んで楽しんできました。



神戸 青谷 王子スタジアムから見る六甲連山 正面 摩耶山 2010.5.30.



5月末 時節と共に すっかり入れ替わった春の花 自宅の庭で 今は小ぶりのバラが満開です

6月 衣替え 初夏の始まり そして、入梅の季節なのですが、今年は遅れそう。

異常気象の中、集中豪雨や寒い日々が続いて、やっと暖かな春のすがすがしい日が続くといった感じです。

桜やツツジの花も終わり、庭の花も一気に咲き変って、今はピンクの「バラ」が咲き、新緑が青い空に映えています。

この頃 たたら製鉄の謎も明快に解けぬまま、たたら製鉄探訪の記事が少なくなってきたなあ・・・と感じていますが、まあ いいかと。また、山もご無沙汰で、里山歩きが今もつばらの walk

資料の不備を少し直したり、たたら概要など整理した記事の掲載など手を入れながらのホームページですが、何事にも好奇心だけは持ち続けたいと思っています。

今月も、特にトピックスもなく 平々凡々の相変らずの生活ですが、久しぶりに都の「葵祭」や東近江日野町の天然記念物ホンシャクナゲの群生地などを訪ねました。



東近江 日野町 鎌掛谷のホンシャクナゲと江戸時代の十数基を越える豪華な曳山「日野祭」 2010.5.2.

前月 六甲森林植物園の石楠花を掲載しましたが、石楠花は年によって咲く花のばらつきが大きい花。石楠花はなんとい

っても 鈴鹿山系の南西端 綿向山山麓 鎌掛谷の崖を埋め尽くす天然記念物のホンシャクナゲ。

「今行かないとあの鎌掛谷の崖を埋め尽くす「ホンシャクナゲ」を見られない」

やっぱり 見たいと日野祭の曳山見物とあわせて、東近江日野の街界隈を歩きました。

また、京都の「葵祭」 最近では激減して中々見られなくなった「ふたば葵」の葉を頭や胸に飾って京都の街を行く素朴な王朝絵巻。家内が育てる「ふたば葵」をながめていて、葵祭でどんな風に「葵」をかざっていたかなあ・・・と。

植物「ふたば葵」って 知っていますか・・・



「ふたば葵」の葉

あの徳川家の家紋「ミツバ葵」のあの「葵」なのですが・・・
 そんな中での6月のホームページ更新です。暇な時にでもご覧下さい。
 2010.6.1. 神戸にて By Mutsu Nakasniishi



「ふたば葵」の葉 頭や胸に「ふたば葵」の葉を飾って京都の街を行く素朴な王朝絵巻「葵祭」 2010.5.15.

2010年 6月の便り from Mutsu 2010.6.5.

 **新緑が美しい野山 身近で絶好の Country Walk**



東近江 新緑に包まれた竜王山 2010.5.2.

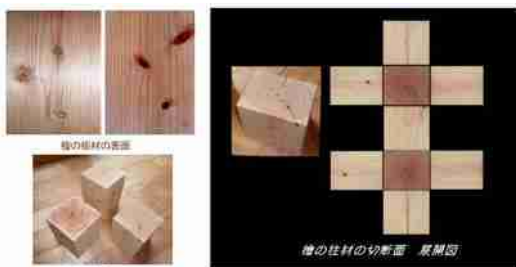


神戸 六甲連山 2010.5.30.

新緑の緑がまぶしい季節 身近で Country walk をお楽しみください。

写真は神戸の街中 青谷にある王子スタジアムから眺めた六甲連山と石楠花を見に行つて ちょっと足を延ばした綿向山山麓から眺めた新緑に埋め尽くされる竜王山です。ちょっと市街地から離れるだけで素晴らしい緑があふれています。

梅雨になる前のひととき 新緑が楽しい身近な野山の Walk をお楽しみください。



柱材の表面に現れた「節」はどう繋がっているのか??

★★ 今月の home page 更新記事 概要 ★★

■ 今月の和鉄の道 製鉄遺跡探訪

今月は掲載ありません

■ 今月の風来坊 Country Walk

1. 春 石楠花と新緑の綿向山山麓滋賀県東近江日野町 walk 2010.5.2.

- 1.天然記念物 鎌掛谷のホンシャクナゲ 満開の群生地を訪ねる
- 2.鎌掛峠を越えて綿向山へ 綿向山山麓 Walk
- 3.馬見岡綿向神社 日野祭(宵山)

2. 2010年 葵祭 Walk 2010.5.15.

1. 葵祭の名の由来となった植物「ふたば葵」
2. 葵祭 walk 2010.5.15.

■ from Kobe 2010年6月

2010年6月

樹木の年輪と幹 = 檜の柱材「節」の謎



神戸のシンボルのひとつ 青谷の神戸海星の「マリア」像を久しぶりに眺めてきました

神戸の街の北側 三宮から大阪へ向かう JR や阪急電車の車窓や神戸のいろいろな場所から遠く眺められる神戸のシンボルのひとつ「神戸海星のマリア像」が、久しぶりに王子スタジアムから眺めました。帰りにぶらぶら 王子から青谷を通過して新神戸に歩いて、途中神戸海星女子学院の建物の頂上にあるマリア像に出会いに行ってきました。昔は本当にいろいろなところからよく見えたのですが、建物が沢山建って 忘れていました。



王子スタジアムから眺める神戸のシンボルのひとつ 神戸海星女子学院のマリア像 白い枠のところです 2010.5.30.



神戸海星女子学院のマリア像とその界限「青谷」 2010.5.30.



東近江 野洲川の河岸段丘から

「縄文のビーナス」を思わせる縄文草創期の土偶が出土した

5月30日朝日新聞朝刊の一面に縄文のビーナスを思わせる「土偶」の写真とともに「東近江永源寺 野洲川のほとり 相谷熊原遺跡から縄文草創期の土偶が出土した」との記事が掲載された。つい最近訪れた日野町綿向山麓から北へ10km 弱のところである。

また、この琵琶湖に注ぐ愛知川の河口 近く能登川では時代はずっと後ですが、ウッドサークルや仮面が出土した縄文後期後葉の大集落遺跡 正楽寺遺跡がある。

この愛知川流域は縄文人の早くからの生活圏。

関西にはあまり有名な縄文遺跡がないのですが、びっくりで うれしい限りです。



【「相谷熊原遺跡から縄文草創期の土偶が出土」の朝日新聞記事】

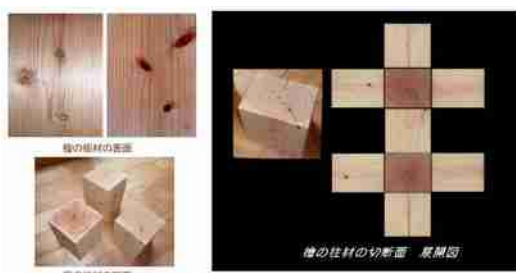


From Kobe 2010 年 6 月

樹木の年輪と幹 = 檜の柱材「節」の謎 =

柱材の表面に現れた「節」はどう繋がっているのか??

柱材の表面に出ている「節」の中がどうなっているか ご存知でしょうか・・・
大工さんに貰った柱材の切れ端の「節」をクロスカットしたり、
インターネットを調べているうちに 色々ほかにも知りました。
空洞が本体に大きく広がる桜の老木が満開の花を付けるのも・・・
でも ひとつ解決するとまた 次の疑問が・・・
今回は「檜の柱材「節」の謎」をまとめました。



【今月の home page 更新記事 概要】

今月の和鉄の道 製鉄遺跡探訪

今月は掲載ありません。今月 掲載記事ありませんが、今まで掲載してきた数多くの記事のアイテムの整理を解かりやすくしました。掲載してきた資料 大部になりましたので、インターネットから 消去することも考えましたが、web 機能のある HD を web サーバーとして、全体をまとめ、整理をすすめています。

したがって、かつての分散サイトのリンクが一部使えなくなっていますが、ご了解ください。

この機会に 今まで色々な web site に分散させていたファイルを「和鉄の道 ホームページ全ファイル収蔵庫」に集め整理し、資料を探しやすくしました。また、たたら製鉄の概要や域別や時代別製鉄関連遺跡探訪。

そして口絵として毎年まとめてきた製鉄関連写真やドキュメントをわかりやすく見つけ出せるように目次のページを見やすく変更。本当は ページ サイトの中で、検索エンジンが動くようにしたいのですが、いまだ力不足です。あしからずです。

今月の風来坊 Country Walk



1. 春石楠花と新緑の綿向山山麓 滋賀県東近江 日野町 walk 2010.5.2.

1. 天然記念物 鎌掛谷のホンシャクナゲ 満開の群生地を訪ねる
2. 鎌掛峠を越えて綿向山へ 綿向山山麓 Walk
3. 馬見岡綿向神社 日野祭(宵山)



5 月の初め、谷全体を埋める石楠花の花を今年も見たくて、
「天然記念物 ホンシャクナゲの群生地」東近江 日野町 鎌掛谷を訪ねました。

この石楠花が一番きれいな5月2・3日 日野の町では 十数基の豪華な曳山が街を練る「日野祭」。
鎌掛谷の石楠花は訪ねて日野祭は見たこと無し。また、日野の町の背後にそびえ、登りたい「綿向山」。
綿向山の頂上には時間的に無理でしたが、新緑と石楠花の山郷Walk を楽しむことができました。

2. 2010年 葵祭 [京都 葵 祭 walk] 2010.5.15.

1. 葵祭の名の由来となった植物「ふたば葵」
2. 葵 祭 walk 2010.5.15.
御所から下鴨神社へ向かう本列（男列）と齋王代に従う齋王代列（女列）



5月15日 新緑に包まれた京都の街を「ふたば葵」の葉を頭や胸に飾りつけた平安人の行列が御所から下鴨・上賀茂両神社へ詣でる王朝絵巻「葵祭」の見物に行ってきました。

最近 希少価値になってきた「ふたば葵」を家内が植木鉢で育てている。

この「ふたば葵」という植物をご存知でしょうか・・・

株から茎が伸びてハート型のかわいい葉が先で二つに分かれる。

新緑の京都「葵祭」の「葵」また徳川家の家紋「みつば葵」はこの「ふたば葵」の葉を3枚組み合わせたもの。

この「ふたば葵」が庭先で双葉の葉を付けているのを見ていて、急に葵祭を見たくなくなってしまいました。

葵祭は何度も見たことがあるのですが、行列の王朝人の頭や胸を飾るこの「ふたば葵」を意識して眺めたことなく、是非眺めたくなくなってしまいました。

葵祭は祇園祭や時代祭と異なり、無言で静かに行列が進んで行くだけで、間延びした祭との記憶がある。

それで 行列全体が通り過ぎるのを全部見たことなかったのですが、また歳をとったせいなのか、意識も変り、気持ちのすがすがしい祭で全行列を眺めました。

from Kobe 2010年6月

 From Kobe 2010年6月

樹木の年輪と幹 = 檜の柱材「節」の謎 =

大工さんから檜の柱材の切れ端を沢山もらった。

この柱材の表面に出ている「節」のルーツは・・・

また、「節」のない柱材を作るのに枝打ちをして真っ直ぐのばすという。

色々調べているうちに 柱の中が空洞になった桜の老木がちゃんと処理すれば生き続け、花を咲かせる秘密も理解しました。

貰った柱材の節をきって、内部を眺めたりの檜の柱材「節」の謎解明のトライです





梅雨の晴れ間 庭の草花も春から夏へ いっぺんに変わりました 2010. 7. 1.



平城遷都 1300 年祭でにぎわう奈良 奈良 平城宮跡に復元された大極殿

やっと梅雨に入ったと思うと 地球温暖化の影響か? 集中豪雨と暑い日ざしが交錯する男性的な梅雨。
 うとうしい毎日。でも 庭に咲く草花も春の花から初夏の庭へ一気に模様替え。スピードを上げて夏へ向かっていると感
 じています。
 いかがおすごでしょうか・・・

南アフリカでのワールドカップ。世界中が繰り広げられる人減ドラマに熱中。
 南アフリカの試合の前には この春映画「インビクタス・負けざる者たち」で知った南アフリカ国歌 「許しと和解 そして
 新生南アフリカの団結」の象徴 の大合唱がグラウンドに響き渡りました。
 色々 暗い話が伝えられる南アフリカ どないなるのやろ??? 大丈夫なのだろうか???・・・と思っていましたが、
 刻々と眼に飛び込んでくる試合の映像とサウンドと明るさ。
 自分の眼でみる映像に いっきの平和かもしれません、世界がひとつになって 平和が本当に尊いと感じています。
 日本の試合 深夜でしたが、ばっちり全部見ました。
 最近の日本のサッカーはまどろっこしくて 大抵 途中で飽きてしまっていたのですが、 ついつい 最後まで引き込まれて
 居ました。皆様はいかがだったでしょうか・・・



今年も「幻のヒマラヤの青いケシ」や「コマクサ」「オオヤマレンゲ」など 楽しみにしていた高山植物が咲き揃いました
2010. 6. 1. 六甲高山植物園で

ホームページの更新を1回パスしようかとおもっていましたが、6月の始めにいきなり 興味津々のニュースが飛び込んできました。東近江永源寺で 13000 年前まだ定住が始まらぬ時代に「縄文のビーナス誕生」そして「縄文の村誕生」を思わせる素晴らしい土偶と竪穴住居群が出土したとの記事が関西の新聞をにぎわした。

関西の縄文遺跡が話題になることはめったにないのですが、これはビッグニュース。是非見に行かねば・・・と。

また、六甲高山植物園で 今年も 「 幻のヒマラヤの青いケシ・大峰の山奥でひっそり咲く白い花・オオヤマレンゲ・高山植物の女王 コマクサ・アルプスのエーデルワイス 」 が咲きそろったと。今年は何とか コマクサのアップの写真が撮りたいと。

また 東近江永源寺で見つかった土偶は 13000 年前。

奈良は平城遷都 1300 年。平城遷都 1300 年祭で湧く奈良にも出かけてきました。

映画も TV も新聞までもが、パフォーマンスと称して わざとらしさが目立つ時代「シンプル・ナチュラル」の「縄文がえり」が必要では・・・と思いつつ walk を楽しんでいます。



素晴らしい土偶と竪穴住居群が出土した
永源寺相谷熊原遺跡

梅雨空をふっとばす初夏の草花と walk そして 関西の縄文をにぎわせた永源寺相谷のビーナスの出土などなどをお伝えしたくて7月のホームページ更新を行いました。

出来上ってみれば、あまりかわりばえしませんが、毎度ながら 元気のしるし。

今月も元気に 同窓仲間の会・歴史探訪 walk と飛び回っています。

仲間と飲み交わす会は本当にありがたいもの いつもパワーを貰ってまた次回が楽しみ。

でも 自分だけ舞い上がって居るわけには行かず。

病気と戦っている仲間 そして 介護に奮闘している仲間がいる。

「仲間がいること忘れず、前向いて挑戦して 打ち勝ってほしい」と。



紫陽花の花言葉 : 「家族の結びつき」
「辛抱強い愛情」
「謙虚」

孫が送ってくれました
2010. 7. 1. Mutsu Nakanishi





春から初夏へ 梅雨時を演出する紫陽花
今庭にいくつも 紫陽花が咲いています



今年も紫陽花が庭のあちこちで きれいな花をつけています。

額紫陽花が朱なのですが、家内がよそできれいに咲いている紫陽花を貰って さし芽で増やしています。

今年は「墨田の花火」と「」が咲いたと喜んでいました。

紫陽花の種類は千差万別。

花に見えるところは花でなくて萼（がく）で、ほんの数ミリの目立たぬ粒々が花だという。

また 紫陽花の仲間というが、本当は紫陽花でないものもあるらしい。

どれもこれも 家内には 思い入れがあるようですが、私には ちんぶんかんぶん。

でも 雨上がりに雨粒をつけた紫陽花の花はこの時期の風物詩 出かけずとも 家で見られるのはラッキーです。

額紫陽花の花言葉

紫陽花は梅雨時の花のイメージが強く花色の変化から「移り気」「心変わり」などの花言葉がある一方、強い生命力で新芽を伸ばし、緑の葉を広げ、花が咲くと日々懸命に色を変えゆく、ひたむきな姿が

「ひたむきな愛情」「辛抱強い愛情」「謙虚」

の花言葉を生む。また、多くの花が円弧・球面放射状に付くことから、「一家だんらん」「家族の結びつき」を象徴する花でもある。

梅雨時の雨上がり、大きな緑の葉に雨粒をつけて咲く大輪の花に華やかさはありませんが、落ち着いた美しさ。梅雨時には欠かせない花です。同じ花のようでも 咲いている場の土壌によって色が変化する。「あそこの道に咲く紫陽花 こんな色だったなあ」とふっと単身赴任していた街の様子を思い出させてくれる花でもあり、毎年友達が送ってくれる紫陽花の花便りも楽しみです。この紫陽花が終わると次は 盛夏『朝顔』『ひまわり』の夏』

今年はどうな夏が来るのか それも 楽しみです。

★ 今月の home page 更新記事 概要 ★

■ 今月の和鉄の道 製鉄遺跡探訪

1. 東近江 永源寺相谷熊原縄文遺跡 Walk 2010. 6. 5.
縄文のビーナスを思わせる日本最古級の土偶が出土
東近江 永源寺相谷熊原遺跡 現地説明会に参加

■ 今月の風来坊 Country Walk

1. 春から初夏へ 花 Walk 六甲高山植物園 2010. 6. 1.
幻のヒマラヤの青いケシ・高山植物の女王「コマクサ」
2. 平城遷都 1300 年祭で賑わう奈良 Walk 2010. 6. 11.
大遣唐使展・若草山・平城宮大極殿
1. 平城遷都 1300 年記念大遣唐使展
2. 大和平野の素晴らしい展望台 若草山 walk
3. 平城遷都 1300 年祭 平城宮跡 復元朱雀門と大極殿

■ from Kobe 2010年7月

不思議なねじのアクション確認

手を触れずに ボルトに差し込まれたナットが回転
登りも下りも そして 左右にも





庭のあちこちで 今年も紫陽花が咲いています 種類が随分増えました 2010.7.1.
 梅雨のこの時期 雨粒を緑の葉に乗せ 咲く花の色は七変化
 この時期 庭先や街角のあちこちで咲く紫陽花に出会えるのは楽しみ

 **手も触れていないのにナットがするすると動く 螺子の不思議を確認**

NHK の番組の画面を見ていると 手も触れていないのに 垂直に立っているボルトの螺子をゆっくりとナットがいとも簡単に登ってゆく。

それも いとも簡単にスルスルと・・・

何でや・・・ こんなに簡単にナットが登るほうほうがあるのか・・・

そういえば しっかりねじ込まれた螺子も時間が経つと緩むことがある。

種明かしは予想のイメージどおり。

でも こんなに簡単にナットが螺子をのぼれるのか・・・と。

これはトライセねば・・・と。

やってみると 本当にいとも簡単にナットがボルトを登って行きます。

間を空けてナットを二つ入れると 引っ付いたり、離れたり。

二つのナットが踊ります。いやあ～ こんなに簡単に螺子がおどるのか・・・と。

でも、NHK の番組によると まだ このメカニズムは解明できていないという。

まだまだ 予期せぬことがある。

「7月の便り 不思議なねじのアクション確認」に再現の様子を動画にしました。

大上段に振りかぶると 「手も触れぬナットが勝手に螺子を登ってゆくなんて そんなことがあるか」

ということに成るのですが、肩の力を抜いて話に耳を傾けると そんなことがあるのです。

頭の体操 知恵の結晶 大事にせねば・・・と。

種明かしは From Kobe 2010. 7月 思議なねじのアクション確認に掲載しました。



スルスルと手も触れていないのに
 ナットが勝手に回転して 踊りだす

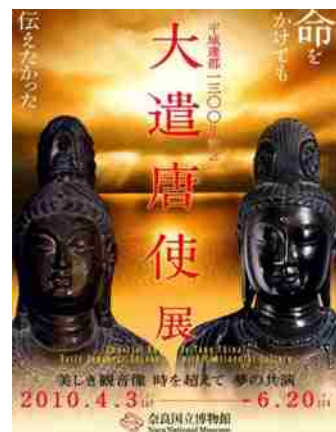


奈良 大遣唐使展で

吉備真備絵巻の漫画チックな面白さと「古代の大生産工房遺跡 飛鳥池」展示
解説のイヤホーンをつけて鑑賞する面白さ



大遣唐使展 吉備真備絵巻に描かれた遣唐使の図と久しぶりに登った若草山 2010.6.11.



左の図は奈良国立博物館の「大遣唐使展」で展示されている ポストン美術館所蔵の「吉備真備絵巻」にえがかれた一コマと、古代飛鳥池遺跡から出土したガラス・玉類。
教科書に載る吉備真備絵巻はいつも遣唐使船の絵 遣唐使船復元ではいつもこの絵が参考にされ、非常に硬い文献のイメージ。



吉備真備の糞を取り囲む官吏たち



飛鳥池出土の「玉類」

ところが この絵は「唐の囲碁名人と対戦した吉備真備が相手の碁石をひとつ飲み込んで 勝負に勝ち、官吏たちが取り囲むのは吉備真備の糞。碁石をのみこんだかどうかを調べる場面」。ほかにも空を飛ぶ吉備真備の絵もある。
本当に漫画チックで面白かった。ちょっと 解説をきかせてもらおうと違った見方が出来る。

また、この大遣唐使展の中で「古代の大生産工房遺跡 飛鳥池」から出土した「玉類」や「富本銭」が遣唐使交流による古代技術成果として 展示されていました。奈良では 一般受けするのは「万葉集と邪馬台国 そして天皇」で、これから離れると何もかも無視されてポイ捨てされることが多い。

古代の国づくりに欠かせない「鉄」 遣唐使が中国との交流を通じて、この鉄を中心とした古代の生産技術習得に果たした役割は大きいと考えていましたが、ほとんどそれを目にする機会はありません。ところが、今回さすが奈良国立博物館 古代鉄鍛冶・金属加工技術伝来に果たした遣唐使の役割が「飛鳥池遺跡」を通して しっかり展示されていて、うれしくなりました。

ちなみに、飛鳥池遺跡は鍛冶工房跡が申し訳程度に万葉ミュージアムの建物の土台に残されている程度で大きな建物が建って、一般には忘れ去られようとしています。

今回は じっくりと遣唐使の役割を鑑賞したくて 解説のイヤホンをつけて、鑑賞。

イヤホンつけて一つ一つ鑑賞すると時間がかかって パスすることが多いのですが、今までの展覧会イメージとは 異なる知らぬ世界が見られて楽しいですね。今回は早速 図説を買って帰りました。

また、久しぶりに登った若草山も新鮮。久しぶりの奈良を楽しみました。平城遷都 1300 年祭の奈良 ぶらりと風来坊するのがいいですね。 其のうちにもう一度訪ねようと思っています。



奈良 若草山 奈良市街地の眺望





奈良の市街地の東側に聳える若草山 奈良市街地の眺望 2010.6.15.

From Kobe 2010年7月 不思議なねじのアクション確認

手を触れずに ボルトに差し込まれたナットが回転 登りも下りも そして 左右にも

【今月の home page 更新記事 概要】

今月の和鉄の道 製鉄遺跡探訪



1. 縄文のビーナス誕生を思わせる日本最古級の美しい土偶が出土 .

東近江 永源寺相谷熊原縄文遺跡 Walk 2010. 6. 5.

東近江 永源寺相谷熊原遺跡 現地説明会に参加



13000年前 縄文草創期 最古級の土偶と村の始まりを告げる竪穴住居群が見つかった

東近江 永源寺相谷熊原遺跡 2010.6.5.

東近江永源寺で 13000年前まだ定住が始まらぬ時代に「縄文のビーナス誕生」そして「縄文の村誕生」を思わせる素晴らしい土偶と竪穴住居群が出土したと の記事が関西の新聞をにぎわした。関西の縄文遺跡が話題になることはめったになく、ビッグニュース。是非見にゆかば・・・と現地説明会が開かれた6月5日朝早く起きて行ってきました。「縄文人は見晴らしのきく高台の森に素晴らしい景観と共に暮らしていた」

場所は近江八幡から四日市へ鈴鹿越の「八風街道」が山へかかる東近江市永源寺 愛知川の広い河岸段丘の上。今回も本当に眺望のきく素晴らしい場所でした。

13000年前というとまだ定住化が進まぬ狩猟採取の時代に村の出現を思わせる五棟もの竪穴住居が近接して見つかり、そのひとつから、小指ほどの大きさですが、リアルな女性表現の土偶が出土した。

縄文遺跡が脚光を浴びることの少ない関西で素晴らしい土偶が出土です。

ひょっとして 縄文人の故地が関西にもあったのではないかとと思わせるうれしいニュースです。





1. 春から初夏へ 花 Walk 六甲高山植物園 2010.6.1.

幻のヒマラヤの青いケシ・高山植物の女王「コマクサ」



六甲高山植物園 今年も珍しい春の高山植物が咲き揃いました 2010. 6. 1.

今年も「幻のヒマラヤの青いケシ」が咲きました。そして 高山植物の女王「コマクサ」大峰の深山に咲く「オオヤマレンゲ」に スイスアルプスの「エーデルワイス」「アルペンローゼ」も。

関西で高山植物が咲く貴重な場所で花の咲くのが楽しみで、心待ちにしています。

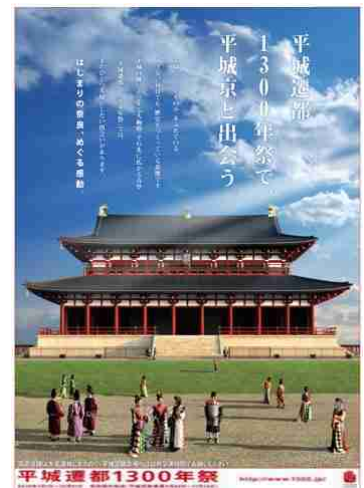
今年は 昨年ほどではありませんでしたが、1年ぶり 青いケシやコマクサ・オオヤマレンゲに再会 鳥のさえずりとセセラキの音を聞きながらの花 walk。初夏の気持ちのいい一日を森の中ですごしました。



2. 平城遷都 1300 年祭で賑わう奈良 Walk 2010.6.11.

大遣唐使展・若草山・平城宮大極殿

1. 平城遷都 1300 年記念大遣唐使展
2. 大和平野の素晴らしい展望台 若草山 walk
3. 平城遷都 1300 年祭 平城宮跡 復元朱雀門と大極殿



今年4月から解さされている平城遷都1300年祭でにぎわう奈良へ行ってきました。

西から生駒の山並みをトンネルでぬけて奈良に入る時の車窓からの目印 草ぼうぼうの広い原っぱの向こうに奈良の町並みと若草山 それに聴講するように原っぱの南北軸に真っ赤な朱雀門と大極殿が復元された。

遮る物のないこの原っぱの中心に立って 古代のロマンに浸りたいとのひそかな思い。



平城宮跡をならへ向かう阪神・近鉄直通電車 2010. 6. 11.

また、大陸との交流が最も盛んな時代 大陸との人・文物の交流を通じて日本の古代が開いた平城京。

そんな時代を評価する「大遣唐使展」を見ると奈良の市街地の西 平城宮跡に復元された朱雀門と大極殿と共にかつての平城京跡に立ってみたいと。

遣唐使・大陸との交流 と名前は知っていますが、その中身はあまり知りませんでした、興味あることばかり。

「古代鉄」についても飛鳥池古代生産工房遺跡が展示されていて ごきげん。

また、ポストン美術館の名品「吉備真備絵巻」の漫画チックな面白さ 是にもびっくりでした。

また、平城京へ行く前に 久しぶりに若草山から「天平の臺」そして 大和平野を鳥瞰。
若草山 知っているようで知らなかった素晴らしい展望台でした。

from Kobe 2010年6月

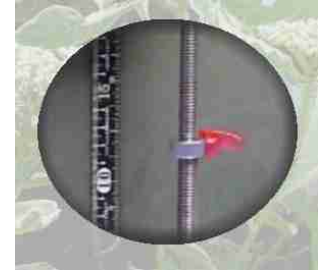


From Kobe 2010年 7月

2010年7月 不思議なねじのアクション 確認

手を触れずに ボルトに差し込まれたナットが回転
登りも下りも そして 左右にも

簡単な手法でこれが再現できましたが、そのメカニズムは不明だという。
こんなことがまだまだあるのでしょうか。
そんな確認テストをやってみました。



スルスルと手も触れていないのに
ナットが勝手に回転して 踊りだす



六甲高山植物園 今年も珍しい春の高山植物が咲き揃いました 2010. 6. 1.

自分だけ舞い上がって居るわけには行かず。
病気と戦っている仲間 そして 介護に奮闘している仲間がいる。
「仲間がいること忘れず、前向いて挑戦して 打ち勝ってほしい」と。



紫陽花の花言葉 : 「家族の結びつき」
「辛抱強い愛情」
「謙虚」

孫が送ってくれました
2010. 7. 1. Mutsu Nakanishi





西播磨 佐用 旧南光町 林崎で 2010.7.20.

暑中お見舞い申し上げます

太陽の花 ひまわり みんながみんな 笑顔でこちらを見つめて「よ!!」と
ひまわりの活力を貰って 頑張りましょう

「ひまわりの夏」到来。

かんかん照りの毎日いかがおすごでしょうか
昨年集中豪雨の被害を受けた兵庫県佐用のひまわり
今年も黄色い顔を元気一杯 太陽に顔を向けています
ひまわりの活力を貰って
元気にこの夏を乗り切りたいと思っています。

2010.8.1. from Kobe

Kobe Mutsu Nakanishi



8月になり かんかん照りの暑い暑い夏の到来 真っ青な空に入道雲 そんな空にトンボが舞い、
ジージーとセミが一斉に鳴き声響く庭では 朝顔が夏の朝を演出しています。

「ひまわりの夏」をお届けしたくて、ホームページを更新しました。

かんかん照りの夏が近づくとはっと気がつく 「平和」への願い
地球の異変にいやおう無しに気が付きた今日

見聞きする現実のあまりの軽薄さ・冷酷さにびっくりする毎日ですが、

「自分ばかりでなく 他人へ 目を向けよう 地球の平和

お互いを思いあう そんな社会の実現へ ちょっぴりでも 参画したい 」と

何か スカッとしない不安感一杯に さいなまれる今の夏ですが、

元気に明るく 精一杯生きれば、なんとか先も開けると・・・・

そんな思いもこめて 「ひまわりの夏 2010」をお届けします。

2010年 盛夏 神戸より Mutsu Nakanishi



2010年 8月の便り from Mutsu 2010.8.5.



夏の須磨アルプスから眺める神戸 2010.7.19.

[左 北側 妙法寺界隈 中 南東 須磨アルプス東山をバックに神戸の市街地 右 南西 明石海峡]



かんかん照りの夏 2010.7.19.

真っ青な空につられて須磨アルプスへ
入道雲が湧く大空をトンボが悠然とまっていました



やっと 梅雨が明け かんかん照りの暑さと真っ青な空
に湧く入道雲。無性に荒々しい山のやせ尾根道を眺めた
くて、向かいの須磨アルプス横尾山の縦走路へ。

前から気になっていた横尾山の中腹を巻いて ちらちら
見える遊歩道から横尾山の縦走路からやせ尾根の「馬
の背」に出る道を探して、縦走路に出ようと妙法寺の駅か
ら真っ直ぐ南へ 団地を抜けて 横尾山の山腹へ…

横尾山の西側からこの山腹を巻いて須磨アルプスの
東で越えてきた縦走路と合流する「横尾道」と名づけられ
たハイキング路が伸びているのですが、この巻き道の途
中から縦走路への道は地図にも載っていないが、或るは
ずと。うまく行けば 展望を楽しみながら馬の背か横尾山
の縦走路に出られるはずと。

横尾道から直接馬の背へ出る道は見つけられませんでした。横尾道野路菊の丘から
真っ直ぐ上へ岩尾根を登って横尾山のピークの西へ出る細い道がありました。【しっかりし
た道ですが、標識は無し】

暑さには閉口しましたが、須磨の展望を楽しみながら、ごつごつとした尾根を登る。
真っ青な空にトンボが舞い、心地よい風が吹いて この景色 この景色と…
久しぶりに見る馬の背のやせ尾根とそこを吹き渡る風も心地よく、周りの景色を眺めなが
らの須磨の夏。昼寝も…

★ 今月の home page 更新記事 概要 ★

■ 今月の和鉄の道 製鉄遺跡探訪

1. 奥播磨 千種川に注ぐ恋文川源流 2010.7.20.
たたら郷 宍粟市山崎町小茅野集落を訪ねる

■ 今月の風来坊 Country Walk

1. 【写真アルバム】 ひまわりの夏 2010.7.20.
西播磨佐用 旧南光町林崎・漆野のひまわり畑で
2. 美祢市於福に店内に野菜生産工場があるレストラン誕生
美祢も新しい街の息吹が・・・ 2010.8.2.

■ from Kobe 2010年8月

from kobe 8月 ひまわりの夏 2010.8.1.

毎年 はっと気がつく平和への思い



入道雲の空とトンボ舞う
須磨アルプスの夏
2010.7.19



夏の朝の楽しみ 朝顔 花言葉は「愛情」「平静」

今朝もまた 一輪 朝顔が咲きました。

今年も庭に色とりどりの朝顔が花をつけて、一服の清涼剤 誰でも育てられる朝顔ですが、奥が深いという。

私には 名前がさっぱりわかりませんが、家内は 咲いた花に名前をダブらせて楽しんでいるようです

でも 毎朝 どんな花をつけているのか 朝起きるのが楽しみな夏です



山口県 美祢の夏 2010.8月

美祢の家の草抜きに約10ヶ月ぶりに美祢へ。

梅雨時の集中豪雨で水浸しになった美祢盆地に被害はどうかと心配していましたが、元気な美祢に一安心
もっとも 鉄橋が流され、美祢線は今も不通。代替バスが国道316を瀬戸内海側の厚狭から美祢を通して長門を結ぶ。

本当に従来の治水・常識が通用しなくなった地球温暖化による自然の猛威

のんきなことを行っておらずに、治水への公共投資 真剣に考える時ではないでしょうか

久しぶりの美祢 トピックス 2つです。

1. 萩焼陶芸家 田中講平さんの登り窯も完成まじか 2010.8.2.

昨年11月から 陶芸活動の傍ら、独力でこつこつと登り窯の築造を進めている萩焼陶芸家の田中講平さん
前回訪ねた昨年秋はまだ、山裾に登り窯を築造する場所が整地され、其のそばに 膨大な煉瓦と石がゴロゴロ
田中さんはけろっと

「まず 登り窯の上屋を建てて それから 築造すめる。一人で全部やるので ぼちぼちやるよ・・・」と。

「もう 登り窯の天井部にかかった」と聞いていたのですが、どないなっているやろかと。

訪ねてびっくり。 イメージしていた以上に大きな登り窯が工房の山裾にどっしりと座って、
窯の天井アーチ部の煉瓦積みが進んでいました。



萩焼 田中講平さんの陶房葉月で築造が進む登り窯 2010.8.2.

上屋の屋根架けも 築造も図面見ながら自分で・・・。

窯天井部のアーチ部の煉瓦積みも、形状に合わせて 山の竹を組んでアーチ骨組みに。

ちょっと考えなかったアイデア。 聞いているとほかにも色々田中さんの工夫が、実に緻密に組みあがりつつある。

「萩焼の修行時代に 2ヶ月に一回の割りで、登り窯を焚いていたので、その経験 イメージが形になってゆく」と。

ただただ すごいなあ・・・と。 作陶活動をしながら 約1年 登り窯の完成まじか。

今年の秋には この登り窯に火入れして 其の作品などで作陶展をやりたいと。

田中さんの登り窯築造の数々の工夫が どんな萩焼作品になって 出てくるのか 今から楽しみ

また、陶芸教室の生徒さんもこの登り窯で自分の作品を焼くのを楽しみに作品準備に大わらと聞きました。
今度は火入れの時に是非 訪ねようと・・・

2. 店内に野菜工場のある洒落た野菜レストランがオープン 2010.8.2 美祢も新しい街の息吹が・・・

「美祢 国道316号沿いの道の駅「於福」・於福温泉に隣接して 地産地消の素晴らしい野菜のレストランが誕生。
今流行のレストランの中にある野菜生産工場がみられ、ふんだんに地域の野菜が食べられるバイキングレストラン。
珍しいだけでなく実においしい。絶対喜ぶと思う。8月1日に誕生したところですが、絶対お勧め」と教えてもらった。
かつて美祢の住人だった私にも ちょっとうれしくて ご紹介。

「レストランの中にある野菜工場」にんて 東京の世界と思っていました、美祢にそんな洒落た店が出来た。
疲弊する地方の街の典型と思われた「美祢」に新しい顔が生まれ、大都会にしか なじまないと思っていたことを地方が育て、リードしてゆく。元気な活気ある場所として美祢の国道316沿いが面として広がって行くのはうれしい限り。
場所は 国道316号線於福 道の駅於福・於福温泉の直ぐ隣。美祢の新しい地域取組のレストラン誕生と今流行のレストランの中にある野菜工場が見られると興味深々で 家内と二人 早速出かけました。
普段着ながら ちょっと洒落た昼の野菜バイキングとティータイムが楽しめるレストラン。
残念ながら 午後6時閉店で、ディナーを楽しむというわけには行きませんが、機会があれば 是非。本当にお勧め。



秋吉ファームガーデン「美祢ブルーベリーガーデン」と国道316の奥に花屋山 2010.8.2



美祢ブルーベリーガーデン
バイキング レストラン
「サビエル カンパーナ」



「美祢ブルーベリーガーデン」店内にある野菜栽培工場



美祢国道316号沿いに於福に出来た美祢ブルーベリーハウス内 レストラン「サビエル カンパーナ」

参照 秋吉ファームガーデン home page <http://www.akiyoshi-farmgarden.jp/>



from kobe 8月 ひまわりの夏

毎年 はっと気がつく平和への思い

かんかん照りの夏が近づくと毎年 はっと気がつく「平和」への願い

地球の異変にいやおう無しに気付きたした今日 従来の治水・常識が通用しなくなった地球温暖化による自然の猛威
のきなことを行っておらずに、治水への投資 真剣に考える時ではないでしょうか

まだ 人工的に気象を制御できないのですから・・・

「想定外だったから」との結論で 平気に答える呑気な世相 「想定外は 解かったけど、今後 どうするねん???'と。

かつて 子供だった私の頭に強烈に残るジェーン台風で水没した尼崎。

その後 街の周囲に張り巡らせた巨大な防潮堤が街を守っている。その安心度はすごいもの。

よくまあ こんな巨大な物を作り上げたと。効率や 無駄や オーバーやと切り捨てなかった先人の知恵

そんな守りのない大阪・東京を騒ぎ立てる今の議論を聞くにつけ、早く気がつけばいいのになあ・・・と。

自然の驚異は 益々大きく牙をむいてくる。自然がみせる兆候に感度よくもっと早く立ち向かわねば・・・

見聞きする現実のあまりの軽薄さ・冷酷さにも びっくりする毎日ですが、人それぞれと見逃してばかりはいられないのか・・・

それとも 時代遅れの年寄は 静かにしていた方がいいのだろうか……。

「自分ばかりでなく 他人へ 目を向けよう 地球の平和
お互いを思いあう そんな社会の実現へ
ちよっぴりでも 参画したい 」と

何か スカッとしない不安感一杯に さいなまれる夏ですが、
元気に明るく 精一杯生きれば、なんとか先も開けるかもと……………
そんな思いの暑い夏

「変えられないものを受け入れる 心の静けさと
変えられるものを変える 勇気と
その両者をみわける 英知を 」

今年もまた、呪文のように唱えています。

2010年 盛夏 神戸より Muysu Nakanishi



【今月の home page 更新記事 概要】

今月の和鉄の道 製鉄遺跡探訪



1. たたら郷 宍粟市山崎町小茅野(こがいの)集落を訪ねる 2010.7.20.

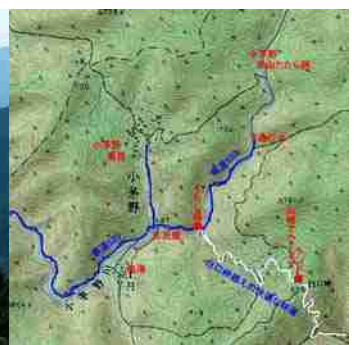
西播磨 千種川に注ぐ恋文川源流 宍粟市山崎町小茅野



「小茅野」と書いて「こがいの」と読む。

小茅野集落は宍粟市の中心山崎から車で約45分程度、
旧千種町と隣接する旧山崎町の北部、南へ流れ下って
千種川に注ぐ恋文川の源流域 周囲を山に囲まれた標
高約600mの小さな高原集落である。

小茅野もそうですが、「恋文川」も本当にロマンチック
な名前。この一帯は中国山地の製鉄地帯を育んだ砂鉄
を含む花崗岩帯が東西に伸び、この集落の北側には
製鉄の神 金屋子神降臨伝承の地「岩野辺」・千種があ



たたら郷 宍粟市山崎町小茅野集落

り、西側を流れ下る千種川水系 東側の揖保川水系を中心に古代から「千種鉄」・「宍粟鉄」の大製鉄地帯で数多くのたたら製鉄跡が点在する。2004年姫路でたたら製鉄の講演を聞いた時に「今発掘調査中の小茅野後山遺跡が古代 平安時代までさかのぼれるかも……………」と聞き、その後「兵庫の遺跡39」誌にも遺跡の概要が紹介され、ずっと頭にあったのですが、場所も知らずそのままになっていました。

昨年 分水嶺を挟んで西側の黒尾山の山腹にあるたたら跡「野々隅原」を訪れて、資料を調べている中で、兵庫県立考古博物館 兵庫の遺跡地図を開いて、野々隅原の直ぐ西に小茅野たたら跡が記載されているのを見つけ一度訪ねようと。

地図でみると野々隅原と同様不自然に山の頂上部に近い山腹からすり鉢状に広がるスロープにまるで隠れ里のごとくすっぽり収まるたたら郷 佐用のひまわりを見に行った午後 この山郷を訪ねました。



1. 【写真アルバム】 ひまわりの夏 西播磨佐用 旧南光町林崎・漆野のひまわり畑で 2010.7.20.



昨年集中豪雨の被害を受けた兵庫県佐用のひまわり 今年も黄色い顔を元気一杯 太陽に顔を向けています



2. 美祢市於福に店内に野菜生産工場がある野菜レストラン誕生 2010.8.2.

美祢にも新しい街の息吹が...



秋吉ファームガーデン「産地ブルーベリーガーデン」と国道316の車に花牌山 2010.8.2.



「美祢ブルーベリーガーデン」店内にある野菜栽培工場



美祢ブルーベリーガーデン
ハイキング・ミュージアム
「サビニル」ホップ・イチゴ



from Kobe 2010年8月



From Kobe 2010年8月 ひまわりの夏

毎年 はっと気がつく平和への思い



西播磨 佐用のひまわり



神戸 六甲 摩耶山からの大阪湾展望と新神戸布引谷を行くゴンドラ 2010. 8. 26.

まだまだ 酷暑が続く中 神戸の周りで「小さい秋」を見つけました



真っ青に澄み切った空をバックに神戸伊川谷の田圃には たわわに実った稲穂が風に揺れています 2010.8.25.



西神戸界隈の夏の終わり・秋の訪れを告げる「タカサゴユリ」 山麓バイパス白川南 IC 周辺で 2010.8.25.

神戸山麓バイパス 白川南 IC 周辺の道路脇の土盛りに 今年も一斉に純白の「タカサゴユリ」が咲き始めました
この「ユリ」の名前 「ササユリ」というのだとずっと思っていたのですが、「タカサゴユリ」というのだそうです

【タカサゴユリの種】

台湾の山地に広く野生するユリで、日本へ種子が入ったのが大正時代で、旺盛な繁殖力のために、今では西日本を中心に広く野生化し、西神戸周辺の団地や道路の盛りなどに自然に生え、年々広がってゆくようです。

このタカサゴユリは種子で繁殖し、花が終わると1輪につき1本、長さ10cmほどの細長い莢（さや）ができる。その中にはポテトチップス状の形の種子が数百ぎっしりと詰まっている。晩秋には莢がはじけて種子が放出して風で運ばれる。

種子は翌春に芽を出し、その年は花をつけないが、翌年から花が咲き、年を追って1本の茎に咲く花の数が増えるという

【インターネットより <http://www.page.sannet.ne.jp/mahekawa/takasagoyuri.htm> 】



9月になりましたが、まだまだ酷暑が続く毎日 でも ちょっとづつ秋の気配に。

真っ青に澄み切った空には心地よい風に乗ってうろこ雲、林ではつくつくぼうしの声が鳴り響き、周囲の田圃にはたっぷりと実をつけた稲穂が風に揺れ、山麓バイパスの土盛りにはあっという間に「タカサゴユリ」が満開に ゆったりとした空間の中

季節の変わり目を感じるこの頃です。

とわいえ 次から次へと殺伐としたニュースが流れ、一向に良くならぬ世の中。政権交代で 期待をかけた政治も もう 無策としか言いようのない無責任さ。われわれに語りかけてくれない政治に無力感が漂う。 またぞろ以前の政治に戻れというのか・・・



堂々と先を語り、前へ突き進んでゆく政治はないのか・・・と。でも マスコミが伝える世の中のなんと現実とかけ離れていることか・・・

自分だけは大丈夫の世の中は 遠く過ぎ去り、明日はわが身 元気出して 「自分のみは自分で守る」現実にはたむかわねば・・・と。

仲間が教えてくれた「一日の過ごし方」机の前に置いていつも眺めるのですが、中々実践は難しいが、ゆったりとした気分させてくれる そんな毎日 家族ともども元気に過ごしています。あまり代わり映えしませんが、ホームページを9月のページに更新しました。



2010年 9月 神戸より Maysu Nakanishi

2010年 9月の便り from Mutsu 2010.9.5.



暑い夜散歩に出ると 2010.8.26.

「月」と「木星」が近接して見えました 夜空を見上げたのは 本当に久しぶり



初秋の夜空に出た満月の「月」と左下の「木星」
2010. 8.26. 夜

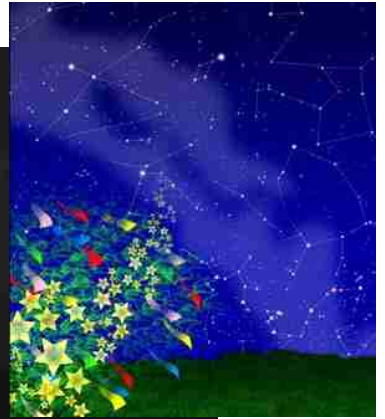
★★ 今月の home page 更新記事 概要 ★★

- 今月の和鉄の道 製鉄遺跡探訪
 1. 参考資料「ヒッタイトの鉄の謎に挑む」
朝日新聞朝刊に掲載された記事 2010. 8. 7.
- 今月の風來坊 Country Walk
 1. 【写真アルバム】 京都堀川 京の七夕 2010. 8. 13.
 - 京都 記憶からも消えつつあった堀川の今
堀川が 疎水の水を引き込んで素晴らしい水辺のプロムナードに
 - 「京の七夕」七夕飾りと光の天の川 2010.8.13.
七夕飾りの堀川河床プロムナードをそぞろ歩き

■ from Kobe 2010年9月
from kobe 9月 どうもおかしい日本

暑い夜 散歩に出ると 流れ行く雲の合間から まん丸の月が顔を出す。
 そして 昇った月の直ぐそばに明るい星
 これにススキがかぶされば「お月見だ」と。
 しばし 見とれていました。
 本当に久しぶりに見上げる夜空です。

8月16日が今年の旧暦の七夕で 8月13日「京の七夕」を見て 夏の夜空を調べたこともあって、星を眺めてみる気分・・・
 お月さんに寄り添うように直ぐそばに明るい星
 私は良く知らなかったのですが、まん丸の「木星」が輝いているのだと。 また、見上げた8月26日は「木星が月に一番近づいて見える日」だったと 後で知りました。



酷暑 涼を求めて水が流れ落ちる溪谷へ 新神戸 布引溪谷 雄滝 2010.8.27.



布引谷の上 展望所から見る神戸市街地 2010.8.26.



新神戸駅の直ぐ北 生田川の源流 神戸ウォーター 布引溪谷 2010.8.26.

神戸の水は世界一うまいと船乗り達が言う。
 その水は神戸の直ぐ裏 六甲 布引貯水池からの水である。
 この貯水池から急流の狭い布引谷を真っ直ぐ流れ落ちて、生田川となって 港に注ぐ。
 新幹線神戸駅の直ぐ上 歩いて 10 分ほどのところ 緑に包まれた布引溪谷に幾つもの滝があり「布引の滝」と呼ばれる。また、この水は古くから 神戸の飲料水 滝の直ぐ下で取水され、上の浄水場に戻され、神戸の水道水となる。
 この布引貯水池をはじめこの布引溪谷の取水設備群は明治 33 年から今に続く施設で国の重要文化財。関西では誰もが知る「神戸ウォーター」「六甲の水」である。



8月27日朝 思い立って 涼を求めて久しぶりに布引の谷に出かけました。
 新神戸駅のガードをくぐって北側へだと そこはもう緑に包まれた溪谷の中。
 幅の狭い緑の溪谷の崖沿いに遊歩道が奥へと登ってゆく。緑のトンネルの中 川が流れ下る音にこだまして ミンミンゼミ
 やアブラゼミに混じて ひときわ大きくつくつくぼうしの声が響く
 気持ちのよいwalk 溪谷沿いを 雌滝・太鼓滝を経て20分ほどで いちばん大きな「雄滝」に到着。
 夏の渇水期でみずがすくないのでは・・・と想着ていきましたが、「ドウドウ」と流れ落ちる雄滝
 素晴らしい景色 30分ほど座って滝を眺めていました。
 神戸の市街地から ほんの20分ほどで 緑に包まれた静寂の世界が広がっています。



布引の滝 雌滝 布引の滝 雄滝 雄滝全景 布引の滝 太鼓滝周辺 2010.8.26.

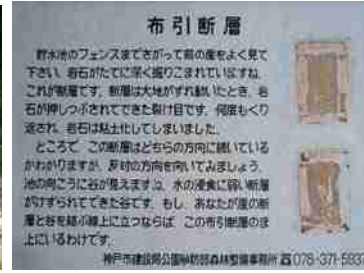
雄滝の直ぐ上に雄滝茶屋があり、そこから谷筋を離れて東へ尾根筋を登ると展望広場。神戸の市街地が一望
 そして 遊歩道は 元の谷筋へ戻って 更に上へと続き、見上げると 新神戸からハーブ園へ西から東へこの谷を渡るロープウエー。そして 前方に大きな石組みの堰堤が見えてくる。布引貯水池の5本松ダム堰堤である。
 堰堤の横に記された案内板によると明治33年から神戸に水を供給した貯水施設で下流の布引谷・滝の取水施設を含め、国の重要文化財である。

また、貯水池の直ぐ横には 布引断層の案内板が立っていて、この布引谷の急峻な溪谷がかつての断層によって形成された谷であることが記されていました。

[重要文化財「布引ダム」諸施設〔布引ダムと五本松堰堤・布引ダム分水堰堤・雌滝取水設備など〕



重要文化財 神戸ウオーターの源 布引貯水池 2010.8.26.



布引溪谷は 布引断層によって引き起こされた深い溪谷 この溪谷で神戸ウォーターが生まれた

神戸の市街地の直ぐ北にこんな癒しの空間がある。久しぶりに涼を求めて歩きました。

このまま また、市街地に引返そうかと思いましたが、空中に浮かぶゴンドラ ロープウェイが結ぶ神戸ハーブ園も言ったことないし、そのままハーブ園から、六甲全山縦走路に出て、久しぶりに摩耶山まで 登って帰りました。

昔何度も登った摩耶山とは様変わり。

かつての奥摩耶山が摩耶さんになっていて、ケーブルが登るかつての摩耶山が「星の駅」（中間点）となり、そこからロープウェイが結ぶかつての奥摩耶山が夜景の素晴らしい「摩耶山山頂」に。

でも 観光ルートから外れたケーブルやロープウェイが大震災を契機にもう無用の産物となっていると心配していましたが、復活しているのも知らず、びっくり。



六甲から眺める神戸の夜景は百万ドルの

摩耶山山頂から見る大坂湾の展望 摩耶山掬星台で 2010. 8. 26.

夜景といわれる。私にとってのビューポイントは どうしても西側 須磨鉢伏山や 元町の上 ビーナズブリッジ・市章山などに偏っているのですが、今回久しぶりに 神戸の東側や大阪湾全体が眺められる布引展望所や摩耶山掬星台へ。

特に多くの人に神戸展望一番のビューポイントといわれる「摩耶山」はやっぱり一番と。

三宮からバスで15分ほど 摩耶山ケーブル・ロープウェイを乗り継いで摩耶山上へ。

帰りは 元へ戻ってもよし、また バスで六甲山牧場・六甲山から表六甲ドライブウェイを阪急六甲へ降りるコースも健在。お勧めのwalking ルートです。

【今月の home page 更新記事 概要】

今月の和鉄の道 製鉄遺跡探訪

今年の夏は出雲田儀川沿いに点在する田儀桜井家の製鉄遺跡群と神戸川水系の朝日たたら跡を訪ねたいと計画しましたが、まだ計画倒れで実現できていません。この地域へは足を踏み入れたことがなく、是非一度訪れたいとおもっています。

「発掘された日本列島2010」の本を手に入れて 最近の製鉄遺跡の発掘状況を見る。

福島県の太平洋沿岸相馬地方 古代の行方金沢製鉄遺跡群の南 横大道遺跡で大規模な官営製鉄工房跡が出土したという。

この地方が 古代対蝦夷の拠点として、武器製造をになう大製鉄コンビナートの広がりがあるに違いない。

昨年淡路島で出土した弥生時代後期後半 卑弥呼の時代の大きな鍛冶村 垣内遺跡では その後の調査で 鉄器製造跡と考えられる竪穴建物が17棟に達することが明らかになり、数多くの鉄片切や炉跡と考えられる赤茶けた焼土部が出土しているが、不思議なことに鞆羽口は見つからないという。また、新聞報道によると出土した大型鉄素材は朝鮮半島製の可能性が強井という。出土しない羽口の代替として 手に入れやすい蓮の茎や竹が羽口として充分機能することが、8月に実施された鍛冶炉復元実験で 明らかになったという。(2010. 8. 27. 読売・神戸新聞ほか)

この大規模な鍛冶工房が弥生から古墳時代への変遷にどんな役割を演じたのか 興味津々であるが、調査はまだ これからのようだ。

また、8月7日の朝日新聞にヒッタイトの故地アナトリア高原で大村幸弘氏など日本人研究者によって発掘調査が進む「ヒッタイトの鉄」の現地ルポの記事が掲載された。ヒッタイトの鉄が ヒッタイト帝国出現以前のどこまでさかのぼれるか こちらも 興味津々。



1. 参考資料 朝日新聞朝刊に掲載された記事「ヒッタイトの鉄の謎に挑む」 2010.8.7.

ヒッタイトの故地 アナトリア高原（現トルコ）で発掘調査を進める大村幸弘氏の話で、以前 愛媛大学でのシンポジウムで聴講。

「初めて人工鉄器を実用化したのが、アナトリア高原（現トルコ）に君臨したヒッタイト」といわれてきましたが、最近の現地発掘調査で 鉄器の出現がヒッタイトが台頭する以前の紀元 前21世紀に遡れる」とお聞きしたことがある。

「ヒッタイトの鉄の謎が日本人研究者たちの発掘で解き明かされる」と胸わくわくで、 気になっていましたが、今朝 届けられた朝日新聞の朝刊に現地で「鉄の帝国」の謎に挑む日本の 研究者の発掘現場を訪れた記事「ヒッタイトの鉄の謎に挑む」の記事が掲載されていました。

鉄の帝国 ヒッタイトの謎 鉄のロマンを掻き立てる記事をご参考までに掲載

2010.8.7. by Mutsu Nakanishi



今月の風来坊

Country Walk



1. 【写真アルバム】 京都堀川 京の七夕 2010.8.13.

- 京都 記憶からも消えつつあった堀川の今
堀川が 疎水の水を引き込んで素晴らしい水辺のプロムナードに
- 「京の七夕」七夕飾りと光の天の川 2010.8.13.
七夕飾りの堀川河床プロムナードをそぞろ歩き



京都堀川 京の七夕 2010.8.13.

旧暦の「七夕」(今年は8月16日)に当たる8月6日-15日までの夜、

京都堀川の河川敷を散策路とする「京の七夕」のイベントが本年よりはじまった。

真っ暗になった堀川の散策路の空に多数のLED電球で再現された天の川、そして七夕飾りで飾られた遊歩道脇には堀川に放流された青い玉画流れくんだり、友禅流しの布がゆれる幻想的な光のページェント。

8月13日の夕刻 お墓参りの帰りに京都堀川の「京の七夕」を楽しんで帰りました。

京都市民からも 忘れかけられていた堀川の流れがこんな素晴らしい水辺の散策路に変わるなどびっくりでした。



一向に日本の景気が良くならないばかりか、益々不安定に見える。

最近の新聞やテレビでの報道を見ると [技術立国日本] [世界をリードする物づくり立国 日本] がどうもおかしいらしい。中国や韓国に負ける局面ばかりでなく、東南アジア諸国にもまける局面が増えつつあるという。

中国や東南アジアの労働者の低賃金・低コスト体質に負けるのだという局面ではないらしい。

昨今の ユーロやドルに対する円の独歩高も 日本が一人負けの様相。

日本の政治家・指導者やマスコミがいう日本とはどうも違うようだ。その根源はどこにあるのだろうか……

日本の「物づくり」技術ひとつ取ってみても それを支えているのは かつての現場熟練技術者であり、声高に日本の独自技術と騒ぎ立てるが、 あっという間に追い抜かれる底の浅い技術になっているのではないか……

2010年 9月1日 神戸より Muysu Nakanishi

山口県長門市仙崎の童謡詩人 金子みすずの詩

金子みすず の詩



山口県長門市仙崎の金子みすずの詩が掲げられている、商店街の一角である

『星とたんぼ』

青いお空のそふかく、海の小石のそのように 夜がくるまでしずんで、
屋のお星はめにみえぬ。見えぬけれどもあるんだよ、見えぬものでもあるんだよ。

『わたしと小鳥と鈴と』

わたしが両手をひろげても、お空はちっともとべないが、
とべる小鳥はわたしのように、地面（じべた）をはやくは走れない。
わたしが体をゆすっても、きれいな音はでないけど、
あの鳴る鈴はわたしのように たくさんのうたは知らないよ。
鈴と、小鳥と、それからわたし、みんなちがって、みんないい。

『大漁』

朝焼小焼だ 大漁だ
大羽鱈（いわし）の大漁だ。
浜は祭りのようだけど
海のなかでは 何萬（まん）の 鱈のとむらい するだろう。

こんな詩もあるんです。

『ふしぎ』

わたしはふしぎでたまらない、
黒い雲からふる雨が、銀にひかっていることが。
わたしはふしぎでたまらない、
青いくわの葉たべている、かいこが白くなることが。
わたしはふしぎでたまらない、
たれもいじらぬ夕顔が、ひとりではらりと開くのが。
わたしはふしぎでたまらない、
たれにきいてもわらって、あたりまえだ、ということが



私と小鳥と鈴と
私が両手をひろげても、
お空はちっともとべないが、
飛べる小鳥は私のやうに、
地面を走くは走れない。
私がかたをゆすっても、
きれいな音は出ないけど、
あの鳴る鈴は私のやうに、
たくさんなうたは知らないよ。
鈴と、小鳥と、それからわたし、
みんなちがって、みんないい。





灘酒蔵の旗が翻る山田錦の郷 吉川 新しい蕎麦の郷 志方町野尻 黄金色の棚田が美しい志方野尻 コスモスの里 志方町広尾

秋が来るのかと心配した今年ですが、あっという間に木枯らし一号
突りの秋・秋の花の風景が一気に通り過ぎてゆきます



日本の原風景が広がる信州里の秋 唱歌が自然と出てくる里の秋 2010.10.16. 訪れた善光寺平で



みずずかる信濃 褐鉄鉱の旧諏訪鉄山が眠る蓼科中央高原の赤い鉄の谷「横谷溪谷」を訪ねました 2010.10.17.

この秋 同窓会や飲み会に 誘われるままに あっちへふらふら こっちへふらふらでした。

自分では何もできないので 誘ってもらうとありがたいもの 一度出会いたいなあと思っていた先生や仲間に数十年ぶりに
出会えました。本当に 再開がうれしい歳になりました。

暑い暑いと言っていたのが、記録的な集中豪雨に 早々と木枯らしが吹いて 秋台風も この間 世相もまた何が何やらわからん
混乱が続く、今までの経験が役に立たず。また 自分には関係がないと思っていたことが、わが身に降りかかって、
逃げ出したくなるような現実。気候の変化も含め、激動の時代とはこんなものかと。

いつまで続くか 判らぬ閉塞感が漂う昨今 もう なるようになれ…と。

「Yes We Can」 オバマの呼びかけに呼応したあの熱気はどこへ行ったのだろうか

でも やっぱり 「Yes I Can」で

この間 我が家の一番のトピックスは 東京にいた娘一家が関西に帰ってきたことで、やってきた孫たちの声で 家もにぎや

かになりました。

また、長野出身の大学仲間が企画してくれた善光寺平バスツアーの同窓会
善光寺に参って 行きたかった小布施・飯山そして戸隠と信州の秋を楽しみ、
唱歌「故郷」の郷で みんなで口ずさんだ昔の唱歌の数々
久しぶりの仲間との語らいとともにいい思い出になりました。

帰りに みすずかる信濃を代表する旧諏訪鉄山を訪ねて 一日北八ヶ岳山麓の
蓼科中央高原を歩いてきました

何やかや 風来坊で忙しく??? 2ヶ月ほどホームページ更新をさぼっていましたが、
やっと更新できました。

そんな風来坊の毎日 元気に暮らしています

また いろいろ ご意見などお聞かせください。

2010年 11月 神戸より Mutsu Nakanishi



鉄で真っ赤な岩のあいだを流れ下る
信州 蓼科中央高原 横谷溪谷 王滝

2010年 11月の便り from Mutsu 2010.9.5.



酒米 山田錦もたっぶり 畔を彩る彼岸花



蕎麦の花



コスモス



谷を彩る錦

★★ 今月の home page 更新記事 概要 ★★

■ 今月の和鉄の道 製鉄遺跡探訪

1. みすずかる信濃 信濃の鉄を象徴する褐鉄鉱 2010.10.17.

旧諏訪鉄山の痕跡を北八ヶ岳山麓 蓼科中央高原に訪ねる

1. 諏訪と信州佐久を結ぶメルヘン街道北・南八ヶ岳の鞍部 麦草峠へ
2. 沈殿する鉄で赤い谷「横谷溪谷」に紅葉と滝そして鉄の痕跡を訪ねる
3. 旧諏訪鉄山跡の遺構と鉄山に湧き出た「石遊の湯」を訪ねる

2. この秋 二つの弥生時代後期の製鉄関連遺跡 の 講演会を聞いて

「阿蘇谷の大量の鉄を集積した集落下扇原遺跡」と
「淡路島 西日本最大級の鍛冶工房村 五斗長垣内遺跡」

■ 今月の風来坊 Country Walk

1. 【写真アルバム】花で追う2010年の秋 小さい秋 みつけた

1. 山田錦の郷 三木市吉川 灘の酒蔵の旗がはためく実りの秋
2. 新しい兵庫の蕎麦の郷 加古川市志方町野尻・小野市小野町
3. 稲穂が揺れる田圃の畔に彼岸花 加古川市志方町で
4. コスモスの里 加古川市志方町広尾西・東中コスモス畑
5. 一足早い溪谷の紅葉 信州蓼科中央高原「横谷溪谷」

■ from Kobe 2010年11月

from Kobe 11月 縄文がえりの勧め 心優しき縄文の村

幼くしてポリオにかかった少女が 村でみんなに守られ ずっと暮らしていた

★ 明石の昼網 2010.11.7.昼前

明石海峡は今タコが一番おいしい季節
朝海峡に出漁した船が昼前には明石漁港
に帰ってきて、すぐにセリが始まる「明石の昼網」
そして ここから 100m ほど北の「魚の棚」の店頭
に生きたままで並べられる。
そんな明石漁港「昼網」の光景です



明石漁港 卸売市場「昼網」セリ場



セリ落とされた魚がすぐ「魚の棚」に並ぶ



孫たちを連れていちもくさん 伊丹空港の滑走路の端へ

2010. 9. 19.

エアフロントオアシス 下川原公園 東京にいた娘一家が関西に帰ってきました



滑走路から 飛び上がってくるのが眺められるエアフロント オアシス 下川原公園 2010. 10. 19.

この秋 一番のトピックスは娘一家が東京から引伊丹に引越してきたこと。家の中も いっぺんに華やかに.....。

伊丹を東西に走る国道 171 号線が南に流れる猪名川を渡る軍行橋の袂は 伊丹空港の北に延びた伊丹空港の滑走路の北正面の端。滑走路をこっちへ向かって轟音を響かせ 突っ込んできた飛行機が 頭のすぐ上を超えてゆく。迫力満点の飛行機見物の一番のポイント。

子供のころから 何度も通った場所で、昔は 尼崎や伊丹のこどもたちは誰でも知っている場所である。

9. 19. 荷物がつく引越しの日「ややこしいから 子供たちを見て」と頼まれ、「まかして」と孫たちを連れていちもくさん。伊丹といえば 私の頭にある一番はやはり このポイント。孫たちを連れて 飛行機を見に行きました。

久しぶりに言ってみるとびっくりしたのですが、昔 正面は立ち入り禁止の田圃だったのですが、エアフロント オアシス 下川原公園として飛び立つ飛行機を見る公園として整備されていました。さすがに滑走路の真正面は少し外されていますが、飛び立つ飛行機は迫力満点。孫たちも大喜びでした。

昔から国道に車を止めて田圃に入る見物の人が多かったのですが、今も私だけではなく、多くの子供ずれの家族が見物。お父さんは皆子供そっちのけで 真上の飛行機にビデオやカメラを向けているお父さんがほとんど。

わたしも そうですが、久しぶりの迫力に浸りました。家内には「またか・・・すきやなあ・・・」と笑われたのですが、この辺りまでは 子供のころのホームグラウンドやと 遠く記憶からも忘れかけていましたが、はっと気が付いて今言っても楽しい場所ですよ。孫たちと出会う機会が増え 3D の映画もみだし、新しい場所へ行く機会も増えて、うれしい限りです。



エアフロントオアシス下川原公園
滑走路を眺められる丘になっていて
子供が遊べる遊具などもある



実りの秋・秋の花 2010 年秋

暑い夏がながびいて 秋が来るのかなあと季節感の乏しかった今年の秋 花の咲くのが 待ち遠しかった秋ですが、あっといふまに木枯らし一号

秋の到来が遅れましたが、花が咲いたと聞くと気になる神戸近郊 秋の播磨里山で今年はこんな写真が取れました



- 真っ白な蕎麦の花が山間の集落を埋め尽くす新しい兵庫の蕎麦の郷や実り
- 田圃の畔に灘の酒蔵の旗が翻る山田錦の郷
- 今年は夏の日照りで 志方のコスモス畑は雑草の勢いが強くちょっと不作

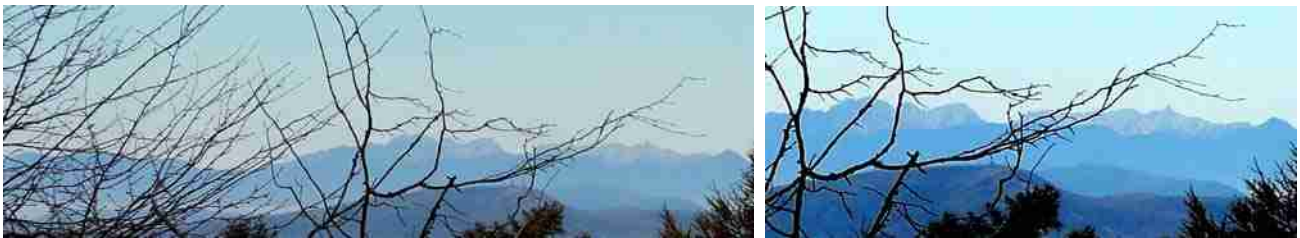
でも、ことしも 丘陵地の間を埋めるピンクや黄色のコスモス美しい里山の景色が見られました。
秋は祭の季節でもあり。今年は久しぶりに播磨の祭りを見に行こうと思いつきながら
結局計画倒れになってしまいました。 来年です。



久しぶりに信州で 北アルプス 穂高連峰・槍ヶ岳を遠望

ハヶ岳連峰 麦草峠 日向大場展望台 2010.10.17.

10月17日早朝 ハヶ岳連峰を西から東へ越える麦草峠に上がりました。
峠のすぐ下の展望台からはハヶ岳連峰・南アルプス・中央アルプス・北アルプスが雲の向こうに浮いているのが遠望できました 久しぶりに見る日本アルプス 特に 北アルプスの穂高連峰・槍ヶ岳が見られたのには感激しました



展望台の北西側に北アルプスが望めました

穂高連峰

槍ヶ岳



ハヶ岳連峰

鳳凰三山・南アルプス連峰

中央アルプス



ハヶ岳連峰麦草峠 日向大場展望台からの日本アルプス遠望 2010. 10. 17.

福鉄鉱(1) もう一つの製鉄原料 褐鉄鉱 あれこれ

この9月姫路の衣川氏の「夢通信」をお送りいただいて 加越たたら研究会の人たちが、山の湿地にある沼鉄「ソブ」を原料とした製鉄実験に成功されていることを知りました。早速「たたら研究会」のホームページでその内容を知りました。

- 衣川良介氏 「夢通信」9月号-ソブによる製鉄- <http://www2.memenet.or.jp/kinugawa/yume/100901.pdf>
- 加越たたら研究会ホームページ「越の大王」 <http://www3.fctv.ne.jp/~takae-u/>

私の照会メールに「加越たたら研究会」からも丁寧なご返事をいただいて、山の赤土(黄土)・沼鉄・ソブなど 見つけやす

い褐鉄鉱系原料でも、その品位を高める工夫が見つければやっぱり製鉄原料となりうると。

ちょっとほかの事にかまけて忘れて投ったらかきにしていたましたが、今一度調べてみようか…と。

そんな折、インターネットをみていて、褐鉄鉱の宝庫 信州を象徴する諏訪鉄山の場所を北八ヶ岳の蓼科山の山麓に見つけ先日 旧諏訪鉄山のある蓼科中央高原を歩きました。

また、愛媛大のシンポでは 古代からのベンガラ産地 熊本県阿蘇谷に現れた弥生後期の下扇原遺跡などの阿蘇谷の弥生後期の鍛冶工房集落遺跡群の話を知りました。ベンガラ産地での鍛冶工房にこれは ひょっとして製鉄の痕跡がないかと興味津々でしたが、どうもそんな痕跡はないそうです。

でも この褐鉄鉱原料のことも 頭の中において もう一度見直してみようと思っています。



信州で拾った褐鉄鉱??

沼鉄の初期 湿地に溜った水酸化鉄

沈殿した水酸化鉄で赤くなった岩肌

以前から 時々頭をもたげるもう一つの製鉄原料 褐鉄鉱

砂鉄・鉄鉱石のたたら製鉄が行われる以前のプレたたら時代にはもっと簡単に製鉄原料が得られる方法での トライがなされていたのではないかと…そして、その候補として 縄文時代から赤色顔料として使われてきた弁ガラ・高師小僧・鬼板・そして沼鉄など 豊富に存在する褐鉄鉱系の材料を使っていた可能性はないだろうか…。それが 「おすず」や「ササラ」などの伝承となって各地に残っているのでは…と

最近では予備処理のめんどろを考えると褐鉄鉱系の原料をたたら製鉄に使うのは難しいとする人が多い。

一番の課題は 褐鉄鉱系の原料は鉄含有量が低い 品位が悪いこと たたら製鉄の原料の砂鉄・磁鉄鉱では その鉄分量は通常 >50%であるのに 褐鉄鉱では 20 数%~50%で その種類によっても大きくばらついて 品位が低いこと。

安定したたたら製鉄が行えるには 鉄分量が>40 と言われており、たたら製鉄が可能となる鉄成分がほぼ 40 パーセントにまで高める技術が必要だなあ…と。例えば 陶芸家が陶土を取るように碎石した後 水でこして 粘土質だけを取り込む作業と同じことをやれば品位は高められるし、それを焼成すれば、多孔質で品位の高い製鉄原料がつかれるのではと…。また、たたら研究会の皆さん他 多くの方がトライされている「褐鉄鉱を焼いて 磁性を帯びたものを選別する方法」もある。もっとも 古代 磁石は使えたのであろうか…、

この褐鉄鉱原料も たどってゆくと奥が深い。頭の中に入れておこうと思っています。

🇧🇷 褐鉄鉱(2) 赤い岩に緑のビロードを張るチャツボミゴケ

鉄分を含む酸性温泉水が作る赤と緑の渓谷

「チャツボミゴケ」って ご存知でしょうか????

信州八ヶ岳山麓「横谷渓谷」 鉄分を含む川の鉄分が川底や周りの岩肌について 赤い渓谷と思いついで出かけたが、川を覗き込んでびっくり。鉄分がこびりついて赤くなった岩とその岩の上にビロードのように張り付いた緑。そして、その真ん中をしぶきをあげて流れ下る清流。

予想もしなかった素晴らしい鉄の赤い渓谷の景色でした 私はよく知らなかったのですが、この景色を作ったのが「チャツボミゴケ」だという。

硫黄泉などの酸性泉に限って生育する特殊なコケで、鉄を溶かし込む鉄泉が流れ込む川原にも河原の岩にびっしり付着し、ビロードのように敷き詰められた河原と流れが形成され独特の景観をみせるところがあると。



鉄分で褐色に染まった岩肌にビロードのように張り付く「チャツボミゴケ」

鉄の赤い渓谷 蓼科中央高原「横谷渓谷」 2010.10.17.

草津の近く群馬県六合村やこの渋川の緑も知る人ぞ知る群生地だそうだ。
 この横谷渓谷ももつとビロードを敷き詰めたようになる時があるという。
 川底に沈殿した鉄分が湿地に流れ込み、バクテリアや植物の作用と相まって 沼鉄そして褐鉄鉱床を形成する
 でも 鉄の赤い谷には こんな赤と緑そして清流の素晴らしい景色を作る一面も

from Kobe 2010年 11月

from Kobe 11月 縄文がえりの勧め 心優しき縄文の村

・ 幼くしてポリオにかかった少女が 村でみんなに守られ ずっと暮らしていた

【今月の home page 更新記事 概要】

今月の和鉄の道 製鉄遺跡探訪



1. みすずかる信濃 信濃の鉄を象徴する褐鉄鉱
 旧諏訪鉄山の痕跡を北ハケ岳山麓 蓼科中央高原を訪ねる 2010.10.17.

1. 諏訪と信州佐久を結ぶメルヘン街道北・南ハケ岳の鞍部 麦草峠へ
2. 沈殿する鉄で赤い鉄の谷「横谷渓谷」に紅葉と滝そして鉄の痕跡を訪ねる
3. 旧諏訪鉄山跡の遺構と鉄山に湧き出た「石遊の湯」を訪ねる

google earth の衛星写真でハケ岳連峰を眺めると北ハケ岳連峰の西側山麓にそこだけ山巒がなく緩やかな傾斜で山麓に延びる平らな高原がある。これは人工的な台地ではないか・・・と。

現在の蓼科中央高原 太平洋戦争時の鉄不足を補う褐鉄鉱 鉄山旧諏訪鉄山で、現在は森に包まれた高級別荘地が広がっている。

また、この台地の右端を麦草峠から流れ下る渋川が作る渓谷「横谷渓谷」では岩肌や川底に鉄分が沈着して鉄の赤い渓谷を作っていると。地形の面白さと赤い鉄の渓谷 そして 信濃の枕詞「みすずかる」「鉄」の関連語で信濃の褐鉄鉱を象徴する。



何度も諏訪鉄山の名は聞いていましたが、それがどこにあるのか知りませんでした。ハケ岳連峰の西山麓にみつけ、しかも地元の人たちによって 探訪ガイドまで作って遺構保存活動を続けている。ちょうど紅葉が始まった 10月17日早朝から1日かけて、旧諏訪鉄山跡並びに鉄の赤い渓谷「横谷峽」を歩きました。

もうほとんど旧諏訪鉄山の痕跡はごくわずかですが、この台地の現在地形や赤い鉄の渓谷が大鉄山だった旧諏訪鉄山を示しているのかもしれない。素晴らしい高原歩きの日 旧諏訪鉄山 Walk でした





2. この秋 二つの弥生時代後期の製鉄関連遺跡の講演会を聞いて

「阿蘇谷の大量の鉄を集積した集落下扇原遺跡」と「淡路島 西日本最大級の鍛冶工房村 五斗長垣内遺跡」

- 10月9日 愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センター第6回 アジア歴史講演会
「弥生時代の小さき鉄製加工具たち—阿蘇・下扇原遺跡の出土品から—」
- 10月31日 ふるさと発掘展「弥生の鍛冶(かじ)工房・五斗長垣内遺跡への道」(連続講演会第一回)
「鉄と青銅—近畿弥生社会における鉄器生産—」森岡秀人(芦屋市教育委員会)

弥生時代後期 阿蘇山の外輪山の内側の山裾 熊本県阿蘇谷のベンガラ産地に下扇原遺跡など鉄を大量に集積した鍛冶工房を持つ集落が幾つも出現し、大和王権の成立過程で なぜかよく判らないが、一斉に消えて行った。その出現と衰退は淡路島に出現した西日本最大級の鍛冶



工房村 五斗長垣内遺跡とよく似ている

このような鍛冶工房村の位置づけを

どう考えたらよいのか…

また、大和王権の成立・日本誕生に大きな影響を与えたのだろうか・・・

これらの疑問への答えは どうも 一筋縄では行かないようだ

弥生後期の大型鍛冶工房村
淡路島 五斗長垣内遺跡

弥生後期大量の鉄を集積した集落群
熊本県 阿蘇谷

今月の風来坊 Country Walk



1. 【写真アルバム】花で追う2010年の秋 小さい秋 みつけた

1. 山田錦の郷 三木市吉川 灘の酒蔵の旗がはためく実りの秋 2010.9.6.
2. 新しい兵庫の蕎麦の郷 加古川市志方町野尻・小野市小野町 2010.10.1
3. 稲穂が揺れる田圃の畔に彼岸花 加古川市志方町で 2010.10.1.
4. コスモスの里 加古川市志方町広尾西・東中コスモス畑 2010.10.13.
5. 一足早い渓谷の紅葉 信州蓼科中央高原「横谷渓谷」 2010.10.17.

暑い夏がながびいて 秋が来るのかなあと 季節感の乏しかった今年の秋

花の咲くのが 待ち遠しかった秋ですが、あっというまに 木枯らし一号 そんな秋 ことしも 花の秋を訪ねました





新しい命 孫が誕生
2010. 11月 長男に赤ちゃん



この子たちの成長が
また新しい生きがいです

あっという間の一年 神戸ルミナリエも終わって 12月もあとわずか クリスマス飾りが街を華やかにしています。激動の時代というのか閉塞感の中

「どないかしてくれ」と叫びたい世相でも 好くも悪くも日本が変わろうとしている。腹が立つことも多いのですが、我々年寄りにはもう登壇する場所はない。年寄りの知恵 最近「経験したことの無いこの激動の時代をゆっくり眺めたらう」と。この一年 いろんなことがありましたが、健康で元気に笑顔で過ごすのが一番と。

12月15日は私の誕生日

「誕生日何かはっと我に帰る日」

いつも応援のメッセージをくれるペナンの仲間から

「何歳になっても、誕生日はめでたいと思えば、長生きもする。人生のスタートの誕生をした日を、やはり大事に思い、両親に感謝をし、家族に感謝をし、そして自分にも感謝する日と。そして、夫婦で祝杯——これがいい」とのメッセージ。

家族や仲間がいて 3人目の孫も誕生

みんな健康で過ごせるのがうれしい

色々あった一年ですが みんなに乾杯 本当に一年間 付き合っただきありがとうございます

ちょっと もう息切れ気味ですが、

「風来坊のCountry Walkは趣味 鉄の探求はlife work」頑張りたいと思っています。

2010年 12月 神戸より Muysu Nakanishi



今年も光の輪の中で多くの笑顔に出会えました
1995年1月 大地震に見舞われた神戸
みんなが輪になって助け合って
その12月 暗闇の中にぱっとルミナリエの明るい灯がついて
互いの笑顔を見て喜んだ その感動は今も忘れない
年が経つとそのルーツが忘れられ、
ひとつのショーになりがちですが、
若い人たちが震災の記憶を
受け継いでいこうとの流れがあるのもうれしい



12月 自己流で生きて 何が忙しい年と言われそうですが、この秋を振り返ると 何とはなしに忙しかった秋 元気に過ごしています。相変わらず、鉄を訪ねて風来坊 Walk を ライフワークに 仲間に誘われるまま 飲み会に せつせと顔を出しつつ、ラクビー観戦・若手の落語会 そして 関西に帰ってきた孫たちと遊んだりと元気に楽しんでいます。息子に赤ちゃんができたのもトピックス。でも この秋 山口にはついに顔出してきました。

歳には勝てず 頭の老化はいかんともしがたしで、ホームページ更新は整理がつかず遅れがち。またまた 遅れましたが、なんとか「12月の便り」とともに IRON ROAD の更新ができましたのでご覧ください。

昨年1月淡路島で発掘された弥生後期 卑弥呼の時代につながる大鍛冶専用工房が発掘され、邪馬台国・初期倭王権の成立を解き明かすかもしれないと大きな話題になった「淡路島 五斗長垣内遺跡」。発掘から2年 この秋 淡路島で発掘の成果を問う「五斗米垣内遺跡への道」展並びにこの遺跡の役割を考える連続講演会・シンポジウムが開催が開かれました。

また、本年 大和纏向遺跡で宮殿跡とみられる建物群も出土し、ちょっとした卑弥呼・邪馬台国ブーム。

この秋 関西ではこの「五斗米垣内遺跡への道」展を含め、多くの博物館が連携して、卑弥呼・大和王権の成立と朝鮮半島の「鉄」の役割に着目した特別展並びにシンポ・講演会が合わせて20以上も開催されました。

この時代 石器から急速に鉄器社会へと激変していった時代ですが、まだ日本で製鉄が行われず、朝鮮半島の鉄に頼らねばならぬ時代。激変の時代の「IRON ROAD・和鉄の道」・「鉄の役割」を考えるうえで、またとないチャンス。せつせと 淡路島や特別展の開催されている博物館に出かけました。

おかげで 今まで 点でバラバラだったこの時代の「時代感」や「鉄の動き」が多少とも理解できるようになりました。

今回 この秋 聴講したシンポ・講演会から この激動の時代の「鉄」について 取りまとめました。

また、東京での集まりの帰りに 一度訪ねたかった国宝の縄文「火焰土器」を出した新潟県十日町を歩いてきましたので、それもアップしました。

★★ 今月の home page 更新記事 ★★

■ 今月の和鉄の道 製鉄遺跡探訪

1. 縄文を代表する国宝「火焰土器」が出土した新潟県十日町市 笹山遺跡を訪ねる 2010.11.17.
2. 弥生時代から卑弥呼の邪馬台国・大和初期王権へ古代国家形成の時代を動かした「鉄」

無手勝流で鉄をキーワードに

弥生から邪馬台国・大和王権への変遷を整理

1. 弥生時代から卑弥呼の邪馬台国・大和初期王権へ古代国家形成の時代を動かした「鉄」
2. 日本統一国家形成へ 時代を動かした鉄資料図集
 1. 魏志倭人伝等中国史書にみる日本の時代変遷
 2. 中国鏡・三角縁神獸鏡の出土分布と編年 遺跡・遺物が示す日本の変化
3. 弥生時代の鉄器出土分布の変化
4. 卑弥呼邪馬台国から大和王権の確立へ
5. 鉄の歴史年表
6. 歴史年表と編年対応

3. 弥生後期から卑弥呼の時代へ

ペールを脱いだ「弥生の Iron Road 和鉄の道」

淡路島五斗長垣内遺跡の謎シンポ を聴講 して

■ 今月の風来坊 Country Walk

1. 縄文を代表する国宝「火焰土器」が出土した新潟県十日町市 笹山遺跡を訪ねる 2010.11.17.

■ from Kobe 2010年12月

【from Kobe 12月】 2010.12.20.

◆ 2010 一年を振り返って

★ 11月22日 神戸箕谷の紅葉

四季折々にふれ、季節の定点写真を撮っている国道488号線箕谷/淡河線 箕谷の紅葉

今年はことのほか鮮やかな紅葉が谷を埋め尽くしていました。



★ ついに明石海峡

たこフェリーが終わってしまいました

今年の秋 せっせと通った淡路島。そのルートが明石と淡路島の岩屋を結ぶ「たこフェリー」

原付チャリが200円ほどで載せられ、淡路島での足が確保できるのが魅力でしたが、11月15日ついに廃止。

高速道路週末1000円のあおり。

「高速道路のバスに乗ればいい」というのですが、ターミナルでない途中のバス停は乗るも降りるも大変。どこも辺鄙なアクセスのない山の上がほとんど。

淡路の人こまるだろうなあ・・・と。早く再開してほしいなあ。



久しぶりの京都 東福寺界限・北山の山郷 井戸 2010.12.4. すっかり 忘れてしまっているのにびっくりでした



京都 東福寺 通天橋の紅葉 2010.12.4.

今年の紅葉は暖冬の影響か「赤」がすごく綺麗。それならば長いこと訪ねていない東福寺の通天橋やと。

「いつでも行ける」と思っていたのですが、京都への足が遠のいてふっと気が付くと記憶も薄れがち

「長いことってないなあ・・・」と。

一番綺麗な時は過ぎていましたが、真っ赤な紅葉が見られました。

昔を思い出しながらの東福寺・泉湧寺・今熊野の山裾WALK。

何度も歩いたはずなのですが、記憶のなさにはびっくりでした。



● 久しぶりに 京都北山の常照皇寺・井戸・小塩・片波の山郷をドライブ

京都北山 芦生の森に屋久杉に負けない巨大な杉 芦生杉の群生地がある。数年前に知って、仲間に紹介したことがある。

学生時代の山仲間との会合で盛りあがってかつて歩いた京都北山の芦生の森・芦生の巨大杉を見に行こうと。
もう みんな行く気は満々なのですが、足の方が心配で、下見を兼ねた京都北山のドライブ
ここまで来ると もう 紅葉はすっかり落ちて初冬の景色
地名や山の中 歩いた記憶はありありと頭に浮かぶのですが、目の前にある風景はほとんど記憶なし。
行けんことはないが やっぱり 道が悪い。一日がかりやなあ…と。まあ ゆっくり 考えよう。



京都北山 京北町山国 常照皇寺 門前の坂から 2010.12.6.
境内にある枝垂れ桜で有名な寺ですが、初冬の季節はずれ しずかなもの



常照皇寺 2010.12.6.

久しぶりに京都北山のドライブを 家内の運転で楽しんで帰りました。
昔の記憶は あてにならず。もう そんな年代になりました。

蓼科横谷溪谷で拾った褐鉄鉱? の検証

この11月蓼科山山麓の諏訪鉄山跡や横谷溪谷で拾ってきた塊 褐鉄鉱というにはちょっと自信がなかったのですが、塊褐鉄鉱なら 焼くと塊の中に含まれている植物質の有機炭素により還元されて磁鉄鉱に変化する部分が出て、磁石で引っ付くはず。沼鉄や褐鉄鉱をたたら原料として使った再現たたら原料の品位をあげるのにこの方法用いると。実際に確かめたことがなく、気になっていた方法。
今回持ち帰った塊を少し砕いて ガスコンロの火で焼いて確かめてみました。



塊そのものが引っ付くほどの磁性は出ませんでした、少し砕いて焼いてやると磁石に引っ付くものが出てきました。

持ち帰った塊はやっぱり 褐鉄鉱のようです。

また、褐鉄鉱を焼いて、磁石で引っ付けて選別するのが、たたら原料として 褐鉄鉱の品位をあげる方法として、 使えることにも納得しました。



鉄資源の乏しい日本で 砂鉄以外にもっと簡単に手に入る たたらの原料として 褐鉄鉱系原料が使われた可能性 やっぱり 残っているなあと思っています。

蓼科で拾った塊を ガスコンロの上に乗せて 焼くと 磁石に引っ付くものが出てきました。
やっぱり 褐鉄鉱のようです

 from kobe 12月 by Muysu Nakanishi

◆ 2010 一年を振り返って

今月の home page 更新記事 概要

今月の和鉄の道 製鉄遺跡探訪

 1. 縄文の国宝「火焰土器」が出土した 新潟県十日町市「笹山遺跡」を訪ねる 2010.11.17.

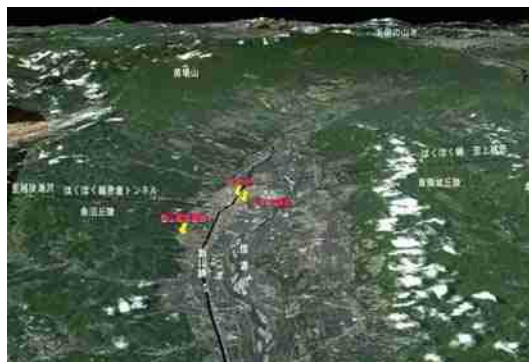


左側を東頸城丘陵 西側を魚沼丘陵に挟まれた 十日町 2010.11.17.

国宝 縄文の火焰土器 (十日町博物館)

火焰土器が出土したのは右手丘陵地 東京から新幹線で2時間弱 イメージしていた豪雪の十日町とは全く違う明るい街 一度訪ねたかった国宝の縄文「火焰土器」を出した新潟県十日町を歩いてきました。

私のイメージは日本一の豪雪地帯 十日町市。その丘陵から 燃えだすエネルギーを感じさせる 火焰土器が出土し、国宝となった。日本海側からも 長野からも また 上越国境側からも 何度もその地名を眺めながら 行けなかった場所 きっと 縄文人が暮らした場所は 素晴らしいところに違いないと。



十日町市北側上空から信州側を眺めた google photo

十日町市周辺の地形図



2. 弥生時代から卑弥呼の邪馬台国・大和初期王権へ 古代国家形成の時代を動かした「鉄」

秋 関西各地で開催された博物館連携特別展とそのシンポジウム & 連続講演会 聴講まとめ



1. 弥生時代から卑弥呼の邪馬台国・大和初期王権へ国家形成の時代を動かした「鉄」
2. 日本統一国家形成へ 時代を動かした鉄 資料図集
 1. 魏志倭人伝等中国史書にみる日本の時代変遷
 2. 中国鏡・三角縁神獣鏡の出土分布と編年 遺跡・遺物が示す日本の変化
 3. 弥生時代の鉄器出土分布の変化
 4. 卑弥呼邪馬台国から大和王権の確立へ
 5. 鉄の歴史年表
 6. 歴史年表と編年対応

昨年1月淡路島で発掘された弥生後期 卑弥呼の時代につながる大鍛冶専用工房が発掘され、邪馬台国・初期倭王権の成立を解き明かすかもしれない大きな話題になった「淡路島 五斗長垣内遺跡」。

また、本年 大和纏向遺跡で宮殿跡とみられる建物群も出土し、ちょっとした卑弥呼・邪馬台国ブーム。

この秋 関西ではこの「五斗米垣内遺跡への道」展を含め、多くの博物館が連携して、卑弥呼・大和王権の成立と朝鮮半島の「鉄」の役割に着目した特別展並びにシンポ・講演会が合わせて20以上も開催されました。

弥生時代の後期から終末期(1世紀初～3世紀末)石器から急速に鉄器社会へと激変していった時代ですが、まだ日本で製鉄が行われず、朝鮮半島の鉄に頼らねばならぬ時代。

激変の時代の「IRON ROAD・和鉄の道」・「鉄の役割」を考えるうえで、またとないチャンス。

せっせと 淡路島や特別展の開催されている博物館に出かけました。「卑弥呼の時代の鉄の役割」について 聞いたことを無手勝流にまとめるとともに 今回得た資料から年代表記の相互比較や 魏書に書かれたことと史実の関係など役に立ちそうな資料・図表整理して集めてみました。



3. 弥生後期から卑弥呼の時代へ ベールを脱いだ「弥生の Iron Road 和鉄の道」 淡路島 五斗長垣内遺跡の謎 シンポ 2010.11.21. 聴講して



2009年 1月23日 新聞紙上で「卑弥呼の時代の国内最大級の鍛冶工房村が淡路島北部で出土」と報じられ、

「卑弥呼の鍛冶工房村か はたまた、この鍛冶工房が古墳時代幕開け 大和倭国連合による日本統一のさきがけか・・・」と古代の夢を膨らませ、センセーショナルに報じられて、約2年。

出土品調査を含めた発掘調査も一段落。来年3月の調査報告書作成を前に この調査で明らかになったことなどを中心に「謎

に包まれた卑弥呼の時代前夜 この遺跡が何を解き明かすのか???)をテーマに この秋 3回の連続講演会と総合シンポジウムが 五斗長垣内遺跡に近い淡路市の北淡震災記念公園 セミナーハウスで開催された。

本当に知りたいことばかり、興味深々で講演会・シンポに参加。

まだまだ 謎に包まれたままですが、聴講した中で知ったことなどを私の独断 無手勝流でまとめました。

(シンポジウム講演のまとめではなく、私の理解・解釈まとめです。

また、一部 講演・シンポで出なかった資料についても補足しました。います。)



1.	五斗長垣内遺跡の概要 伊藤宏幸氏(淡路市教育委員会)講演「五斗長垣内遺跡と淡路島の弥生遺跡」より整理
2.	五斗長垣内鍛冶遺跡の役割と時代的位置づけ 村上恭通氏(愛媛大学東アジア古代鉄文化センタ長) 講演「弥生人が目指した鉄器化社会」より整理
3.	弥生後期の和鉄の道・Iron Road 大久保徹也氏(徳島文理大教授)講演「播磨灘と五斗長垣内遺跡を考える瀬戸内をめぐる交流・地域間関係」より整理
4.	弥生時代後期 近畿でも急速に実用鉄器化が進んだことを示す石の刃物の変化 禰宜田佳男氏(文化庁 主任調査官)講演「近畿における石の刃物と鉄の刃物」より整理
5.	まとめ

今月の風来坊 Country Walk



1. 縄文の国宝「火焰土器」が出土した

新潟県十日町市「笹山遺跡」を訪ねる 2010.11.17.

一度訪ねたかった国宝の縄文「火焰土器」を出した新潟県十日町を歩いてきました。

私のイメージは日本一の豪雪地帯 十日町市。その丘陵から 燃えだすエネルギーを感じさせる火焰土器が出土し、国宝となった。日本海側からも 長野からも また 上越国境側からも 何度もその地名を眺めながら 行けなかった場所 きっと 縄文人が暮らした場所は 素晴らしいところに違いないと。

東京から 新幹線で2時間弱 関西でイメージしていた豪雪の十日町とは全く違う明るい街でした



左側を東頸城丘陵 西側を魚沼丘陵に挟まれた 十日町 火焰土器が出土した笹山遺跡は 右手丘陵地 2010. 11. 17.

from Kobe 2010年 12月



From Kobe 一年を振り返って